

令和7年 冬山情報



写真：富山県警察山岳警備隊

この冬山情報は、全国の都道府県警察で把握している、冬季における登山時の留意点等をとりまとめたものです。

各山岳（山系）の登山道、山小屋、ロープウェイの営業状況等に関する情報は、日々変化していますので、実際に登山される前に、次のページに掲載している「ホームページ等による山岳情報等提供警察一覧」や各地の関係機関から、**最新の情報を直接入手する**ようにお願いします。

また、登山届等は、万一の場合の捜索救助の手掛かりとなります。作成した登山届等は、一緒に登山する仲間、家族や職場等と共有するとともに、登山口の登山届ポスト、都道府県警察や自治体等に提出してください（インターネットでの届出が可能な場合もあります。）。

※ 最終ページに冬山装備チェックリストを掲載しています。
対象とする山の難易度、登山方法により必要な装備は変わりますので、万全な準備をして入山してください。

「ホームページ等による山岳情報等提供警察一覧」

山岳・山域別	担当警察本部等	電話番号	ホームページアドレス
主な山域の 冬山情報	警察庁生活安全局 生活安全企画課	03-3581-0141	冬山情報 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/sounan.html
北海道全山域	北海道警察本部 地域企画課	011-251-0110	安全登山情報 https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/chiiki/sangaku/sangaku-top.html
利尻山 大雪山系 十勝連峰	北海道警察 旭川方面本部地域課	0166-35-0110	安全登山情報 https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/00ps/asahikawahonbu/kakuka/400_chiki/401_anzentozan.html
八甲田山系	青森県警察本部 地域課	017-723-4211	山岳遭難 https://www.police.pref.aomori.jp/seianbu/chiiki/sangakusounansuinsetugai.html
八幡平	岩手県警察本部 地域課	019-653-0110	登山を楽しく安全に～山岳遭難防止～ https://www.pref.iwate.jp/kenkei/osirase/seikatsuanzen/3000008.html
	秋田県警察本部 地域課	018-863-1111	登山届について https://www.police.pref.akita.lg.jp/kenkei/news/tozantodoke
鳥海山系	山形県警察本部 地域課	023-626-0110	登山届は、あなたの命綱 https://www.pref.yamagata.jp/800020/kensei/police/procedures/tozan/tozan-todoke.html
	秋田県警察本部 地域課	018-863-1111	登山届について https://www.police.pref.akita.lg.jp/kenkei/news/tozantodoke
蔵王山系	宮城県警察本部 地域課	022-221-7171	山岳情報 https://www.police.pref.miagi.jp/tiiki/sangakuyouhou/indexsangakuyouhou.html
	山形県警察本部 地域課	023-626-0110	登山届は、あなたの命綱 https://www.pref.yamagata.jp/800020/kensei/police/procedures/tozan/tozan-todoke.html
飯豊連峰	山形県警察本部 地域課	023-626-0110	登山届は、あなたの命綱 https://www.pref.yamagata.jp/800020/kensei/police/procedures/tozan/tozan-todoke.html
	新潟県警察本部 地域課	025-285-0110	登山情報 https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kenkei/osirase-anzen-ansin-mizuvamaisetugaijiko-sangaku-index.html
越後山脈 苗場山	福島県警察本部 地域企画課	024-522-2151	山岳関係 http://www.police.pref.fukushima.jp/03_05sangakusounan.html
	新潟県警察本部 地域課	025-285-0110	登山情報 https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kenkei/osirase-anzen-ansin-mizuvamaisetugaijiko-sangaku-index.html
妙高山系	新潟県警察本部 地域課	025-285-0110	登山情報 https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kenkei/osirase-anzen-ansin-mizuvamaisetugaijiko-sangaku-index.html
	群馬県警察本部 地域課	027-243-0110	山岳情報 https://www.police.pref.gunma.jp/site/police/list283-1466.html
丹沢山系	神奈川県警察本部 地域総務課	045-211-1212	登山を楽しく安全に https://www.police.pref.kanagawa.jp/kurashi/umi_yama_jiko/mesg0004.html
	埼玉県警察本部 地域総務課	048-832-0110	山岳情報 https://www.police.pref.saitama.lg.jp/kurashi/sangaku-suinan/index.html
奥秩父山系	長野県警察本部 山岳安全対策課	026-235-3611 (直通)	山岳情報 http://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/
	山梨県警察本部 地域課	055-221-0110	山岳情報 http://www.pref.yamanashi.jp/police/sangaku/index.html
富士山	山梨県警察本部 地域課	055-221-0110	山岳情報 http://www.pref.yamanashi.jp/police/sangaku/index.html
	静岡県警察本部 地域課	054-271-0110	山岳情報 https://www.pref.shizuoka.jp/police/kurashi/umiyama/sangaku/index.html
中央アルプス 南アルプス 八ヶ岳	長野県警察本部 山岳安全対策課	026-235-3611 (直通)	山岳情報 http://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/
	山梨県警察本部 地域課	055-221-0110	山岳情報 http://www.pref.yamanashi.jp/police/sangaku/index.html
静岡県警察本部 地域課	静岡県警察本部 地域課	054-271-0110	山岳情報 https://www.pref.shizuoka.jp/police/kurashi/umiyama/sangaku/index.html
	富山県警察本部 山岳安全課	076-441-2211	山岳情報 https://police.pref.toyama.jp/anzen/sangakujouhou/index.html
北アルプス	長野県警察本部 山岳安全対策課	026-235-3611 (直通)	山岳情報 http://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/
	岐阜県警察本部 警備第二課	058-271-2424	山岳情報 https://www.pref.gifu.lg.jp/site/police/4157.html
大峰山系 台高山系	奈良県警察本部 地域課	0742-23-0110	山岳遭難対策 http://www.police.pref.nara.jp/0000000011.html
大山	鳥取県警察本部 地域課	0857-23-0110	大山登山情報 http://www.pref.tottori.lg.jp/policedaisen/
剣山系	徳島県警察本部 地域課	088-622-3101	安全で楽しい登山のためには https://www.police.pref.tokushima.jp/04anzen/p15360/
	高知県警察本部 地域課	088-826-0110	安全登山のために https://www.police.pref.kochi.lg.jp/docs/2023103000416/
石鎚山系	愛媛県警察本部 地域課	089-934-0110	登山者の皆様へ http://www.police.pref.ehime.jp/chiiki/tozan.htm
	高知県警察本部 地域課	088-826-0110	安全登山のために https://www.police.pref.kochi.lg.jp/docs/2023103000416/
脊振山系 多良山系	佐賀県警察本部 地域課	0952-24-1111	登山計画書の提出 https://www.police.pref.saga.jp/kurashi/machizukuri/_3538.html
霧島山系 屋久島山系 開聞岳	鹿児島県警察本部 地域課	099-206-0110	山岳情報 https://www.pref.kagoshima.jp/ja10/police/shinsei/sonota/sanngaku.html

「その他の山域に関する情報等」

都道府県警察	ホームページアドレス
茨城県警察本部 地域課	https://www.pref.ibaraki.ip/kenkei/a06_shinsei/mountain_climbing/index.html
栃木県警察本部 地域課	https://www.pref.tochigi.lg.jp/keisatu/anzenanshin/tozan/index.html
千葉県警察本部 地域課	https://www.police.pref.chiba.ip/chiikika/safe-life_publicspace-hiking.html
石川県警察本部 地域課	https://www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/application/application13/
福井県警察本部 地域指導課	https://www.pref.fukui.lg.jp/kenkei/doc/kenkei/sounansuinandfil/sangakusounanbousi.pdf
愛知県警察本部 地域総務課	https://www.pref.aichi.ip/police/anzen/sounan/tozan.html
三重県警察本部 地域課	https://www.police.pref.mie.ip/climbing/climbing_top.html
滋賀県警察本部 地域課	https://www.pref.shiga.lg.jp/police/seikatu/chiiki/104765.html
京都府警察本部 機動警ら課	https://www.pref.kyoto.ip/fukei/anzen/tiiki/sangaku/
兵庫県警察本部 地域企画課	https://www.police.pref.hyogo.lg.jp/seikatu/sonan/index.htm
島根県警察本部 地域課	https://www.pref.shimane.lg.jp/police/01_safety_of_life/Mountain_distress_prevention/
広島県警察本部 地域課	https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/police/tozankeikaku.html
長崎県警察本部 地域課	https://www.police.pref.nagasaki.ip/police/kurashi/machizukuri/sangakusounanboushi/
熊本県警察本部 地域課	https://www.pref.kumamoto.ip/site/police/8751.html
大分県警察本部 地域課	https://www.pref.oita.ip/site/keisatu/tozan.html
宮崎県警察本部 地域課	https://www.pref.miayazaki.lg.jp/police/shinsei/tozantodoke.html

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
1	北海道	りしりざん 利尻山	1,721	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利尻山は、北海道北部の日本海に位置する離島の山岳で、冬期間、北西からの強い季節風の影響により、吹雪状態が日常的に続く極めて厳しい山で、慎重な天候判断と予備日を十分に計算した登山が求められます。 ○ 冬期間の登山道は不明瞭で、中腹にある2か所の避難小屋には宿泊設備が無いため、入山には綿密な登山計画と冬山装備、熟練したクライミング技術等が必要となります。 ● 令和6年2月、10人で入山し別々にスキー滑走をしていたところ、1人が標高700メートル付近で沢に転落して死亡する事故が発生しています。 ● 令和6年3月、8人で入山しスキー、スノーボードで滑走中、7人が標高400メートル付近で雪崩に巻き込まれて、うち1人が死亡する事故が発生しています。
2	北海道	らうすだけ 羅臼岳	1,660	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の知床半島の風は強烈なため稜線上では慎重に行動し急斜面では雪崩や滑落に注意してください。 ○ 平坦部は目標物が全く無く、視界不良時はルートを見失いやすいので、標識旗を用意するなどして入山してください。 ○ 岩尾別コースは、冬期間、登山口に通じる道路(約4km)が閉鎖されており、木下小屋も閉鎖されているため、避難場所はありません。
3	北海道	しゃりだけ 斜里岳	1,547	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大量の降雪と強い北風が吹きつけることから、吹雪による視界不良など厳しい気象条件下での登山となります。 ○ 急斜面での雪崩や滑落、稜線上での強風に注意してください。 ○ 冬期間は登山口に通じる道路(約7km)が閉鎖され、登山口にある山小屋も閉鎖されているため、避難場所はありません。
4	北海道	めあかんだけ 雌阿寒岳	1,499	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雌阿寒岳は、7合目付近から山頂にかけては風を遮るものが多く、吹きさらしとなるため、雪面が固くしまることが多く、アイゼン、ピッケルなどの装備が必要です。 ○ 雌阿寒岳と阿寒富士の分岐付近(オンネトーコース)や剣が峰分岐から雌阿寒岳山頂(阿寒湖温泉コース)にかけての平坦地では目標物がなく、特に視界不良時はルートを見失いやすいため、地図、GPS、標識旗を携行するなど、慎重に行動する必要があります。 ○ 活火山であるため、火口内やその周辺では火山ガス等の噴出に注意してください。
5	北海道	だいせつざん 大雪山 あさひだけ 旭岳	2,291	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭岳は、北海道の最高峰で、冬期間、日本海側から吹きつける季節風の影響を強く受け、強風と大量の降雪により晴れる日が少なく、視界不良等から道に迷いやすい山です。 ○ 活火山であるため、火口内やその周辺では火山ガス等の噴出に注意してください。 ○ 旭岳ロープウェイ姿見駅から山頂に至る登山道は、深雪から氷雪のアイスバーンに変化するため、アイゼン、ピッケル等の装備を携行し、経験豊富なリーダーによるパーテーー登山が求められます。 ○ 旭岳ロープウェイ姿見駅から山麓駅までの旭岳スキー場は、一部誘導ポールが設置されていますが、地吹雪等による視界不良からコースアウトする危険性の高い山岳スキー場です。視界の悪いときは、滑走を自粛する賢明さが必要です。 ○ スキー場のコース以外の斜面は滑走禁止となっています。特に、盤の沢方面の急斜面は雪崩が発生しやすい危険な場所なので、絶対に立ち入らないでください。 ● 平成31年2月、旭岳ロープウェイ姿見駅から単独で入山した登山者が行方不明となっています。 ● 令和2年2月、旭岳ロープウェイ姿見駅から入山したスノーボーダーが行方不明となっています。
6	北海道	トムラウシ山	2,141	<ul style="list-style-type: none"> ○ トムラウシ山は、地図判読及び地形把握技術など高度な知識が必要な上級者向けの山のため、初心者の登山は控えてください。また、荒天の日が多いことから、十分な防寒対策と事前の気象情報の確認、予備日を設けるなど余裕ある計画が必要です。 ○ 南沼キャンプ指定地からトムラウシ公園付近までは、広大な丘陵で迷いやすいため、地図、GPS、標識旗を携行するなど、慎重な行動が求められます。特に、下山時は西沢方向へ迷い込みやすいので注意する必要があります。 ○ コマドリ沢付近からトムラウシ公園、南沼キャンプ指定地から山頂にかけての雪面は、アイスバーンとなり、滑落の危険があるので、慎重に行動する必要があります。 ○ 短縮登山口までの林道は、冬期間、車両での通行ができません。
7	北海道	とかちだけ 十勝岳	2,077	<ul style="list-style-type: none"> ○ 十勝岳は、冬期間、季節風の影響を強く受けるため、強風と大量の降雪で晴れる日が少なく、視界不良等から迷いやすい山です。特に、山頂直下の平坦地は目標物がないため、地図等による慎重なルート確認が必要です。 ○ 噴火の警戒が必要な活火山であり、現在は火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、突発的に噴出現象が発生する可能性があるので注意が必要です。 ○ 平成28年10月、望岳台ルート登山口に十勝岳防災シェルターが設置されています。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
8	北海道	ぼろしりだけ 幌尻岳	2,052	<ul style="list-style-type: none"> ○ 品川岳は登山口までのアプローチが長いため、長期の登山計画を要するほか、厳しい気象条件の中での行動を余儀なくされるため、万全の装備と食糧、通信手段等の周到な準備が必要です。 ○ 日高山脈の山は行程が長いことから、相当な体力を必要とするほか、稜線上では雪庇の見極めや氷斜面での滑落、雪崩に十分注意する必要があります。
9	北海道	ようていざん 羊蹄山	1,898	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単独峰のため、風の影響を受けやすく、天候が急変しやすいことから、入山前には天候を確認し、悪天候の兆しがある場合には、入山を自粛するなどの状況判断が重要です。 ○ 7合目から山頂までの雪面は氷雪となるため、アイゼン装着による歩行となります。また、突風による滑落のほか、雪崩には十分注意してください。 ● 令和2年2月、単独で入山したスノーボーダーが、標高1,150メートル付近で雪崩に巻き込まれて死亡する事故が発生しています。 ● 令和5年1月、10人で入山しスキーで滑走中、1人が標高980メートル付近で雪崩に巻き込まれて死亡する事故が発生しています。 ● 令和5年3月、2人で入山し別々にスキーで滑走していたところ、1人が標高1,240メートル付近で雪崩に巻き込まれて死亡する事故が発生しています。 ● 令和6年3月、6人で入山し、スキー、スノーボードで滑走していたところ、3人が標高700メートル付近で雪崩に巻き込まれて、うち2人が死亡する事故が発生しています。
10	青森県	いわきさん 岩木山	1,624	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩木山は単立の山で、厳冬期は気象の変化が著しく、強風時は秒速約30mの突風が発生し、気温は氷点下20度位まで冷え込みます。また、大量の積雪や雪庇、雪崩、吹雪による視界不良などがあることから、十分な装備と細心の注意が必要です。 ○ 9合目からはアイスバーン状態となっていますので、アイゼン、ピッケル等の冬山装備を必ず携行してください。 ○ 8合目までのアクセス道路である通称「岩木スカイライン」は、11月4日（降雪により閉鎖）から翌年4月下旬ころまで閉鎖されます。 ○ 山頂付近は例年1月から3月までの間に雪面に亀裂が発生しやすく、雪崩が発生する可能性がありますので、十分注意してください。
11	青森県	はっこうださん 八甲田山 おおだけ 大岳	1,584	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八甲田山の厳冬期は、強風と大量の積雪、吹雪などの気象変化が激しいため、冬山登山や山岳スキーには、十分な装備とガイドや経験豊富なリーダーが必要です。 ○ 八甲田山は、山岳スキーがほとんどで、滑走可能なコースには誘導ポールやフェンスを設置しているが、毎年コースを外れて遭難する事案が発生しています。視界の悪い時は、特に注意が必要です。 ○ 青森市内から八甲田入口の酸ヶ湯温泉までは、通常で通行可能ですが、12月15日から翌年3月19日までの間、午後9時から午前7時30分まで通行禁止の時間規制となります。 ○ 酸ヶ湯温泉から谷地温泉までは、11月17日から翌年4月1日までの間、通行禁止となります。また、青森市から田代高原を経由し、十和田湖までは通常で通行可能ですが、12月15日から翌年3月19日までの間、午後6時から午前7時30分まで通行禁止の時間規制があるほか、天候によっては閉鎖されますので、悪天候の時は事前に確認してください。 ○ 八甲田ロープウェイの冬期営業時間は上りは午前9時から午後3時40分、下りの最終は午後4時となっていますが、風速が25m/s以上の時、また荒天時には運休となります。 ○ 冬期間は、八甲田周辺の通行の条件を確認の上、タイヤチェーン、防寒具、砂袋等を携行し、気象条件の変化に注意をして通行してください。 ● 令和7年1～4月にスキーヤー・スノーボーダー計5人がコース外でのけがや道迷いで遭難しています。
12	岩手県	いわてさん 岩手山	2,038	<ul style="list-style-type: none"> ● 岩手山は、令和6年10月2日に噴火警戒レベルが「2」に引き上げられたことに伴い、入山できません（岩手県復興防災部防災課）。
13	岩手県	はやちねさん 早池峰山	1,917	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早池峰山は、冬の入山規制はされていませんが、登山道は東北地方では珍しく岩場が連続し、積雪がある冬期間は、雪庇又は凍結による浮き石等で非常に危険な状態となります。 ○ 冬期間、山頂避難小屋及びうすゆき山荘（河原の坊登山口より花巻市大迫町側約1km）は無人ですが利用可能です。 ○ 早池峰山の河原の坊登山道は、平成28年5月28日から土砂崩れのため閉鎖されています。 ○ 早池峰山の河原の坊登山道に通じる県道25号紫波江繁線は、花巻市大迫町内川目岳から宮古市江繁向神楽の区間が、冬期間（11月上旬から翌年5月中旬頃までの間）通行止めとなります。（花巻市役所大迫総合支所情報） ○ 岩手県内の山林はほとんどがクマの生息地です。入山する際は、被害防止対策を徹底しましょう。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
14	岩手県 秋田県	はちまんたい 八幡平	1,613	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の八幡平は、北西の季節風が強く、荒天時には視界ゼロとなり、特に源太森からは気象条件が一段と厳しく、加えて目標物が少ないことから、リングワンデルング(方向感覚を失い、無意識のうちに、円を描くように歩いてしまう現象)に陥る危険があります。必ず、地図、磁石、GPS等で位置を確認しながら行動してください。また、単独行動や少人数での入山は避けてください。 ○ 茶臼岳周辺では、前山、樅山(もみやま)付近及び恵比寿沢での雪庇崩落や雪崩に注意してください。 ○ 旧八幡平スキー場を横断する際は、上部の雪庇崩落等による雪崩に注意してください。 ○ 八幡平樹海ラインは、11月上旬から翌年4月下旬まで閉鎖されます。(岩手県道路環境課) ○ 八幡平アスピーテラインの、御在所から八幡平頂上までは、11月上旬から翌年4月上旬まで閉鎖されます。(岩手県道路環境課) ○ 八幡平アスピーテライン(県道23号線)の蒸ノ湯休憩所～山頂見返峠～御在所休憩所までの間、11月上旬から翌年4月中旬まで閉鎖されます。(秋田県情報) ○ 八幡平樹海ライン(県道318号線)の山頂見返峠～藤七温泉下の間、11月上旬から翌年4月中旬まで閉鎖されます。(秋田県情報)
15	宮城県 山形県	ざおうれんぼう 蔵王連峰 くまのだけ 熊野岳 かつただけ 刈田岳	1,841 1,758	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蔵王連峰は、熊野岳を主峰とし、北の雁戸山から南の不忘山まで25kmにわたる火山群です。蔵王山は活火山であるため、火山情報に留意してください。 ○ 山形側のライザスキー場のリフト降り口から刈田岳直下までの間や地蔵岳から熊野岳間のルートには、道標が設置されていますが、悪天候時や積雪でわからなくなることがありますので、自身の位置情報を確認できるように事前に準備してください。 ○ 厳冬期、蔵王ライザスキー場の北東にある仙人沢(標高1,400m地点)に、高さ約30m、幅約10mの氷瀑ができます。氷瀑付近は、突然崩落する可能性があるほか、沢まで滑落しやすい危険な場所ですので、天候や気温の変化に細心の注意を払うようしてください。 ○ 白石スキー場からの登山道は、積雪により埋まっています。また、不忘山から北側や、不忘山山頂から刈田岳まで至る南蔵王縦走コースは滑落の危険があり、注意が必要です。 ○ 昨年に比べ、クマの目撃情報が多く寄せられています。冬眠しないクマ、冬眠できないクマもいることが予想されます。少しでもクマについての危険性があるのであれば入山は控えてください。 ● 令和4年4月、1人が蔵王山の御釜に立ち入り、凍った湖面を滑走中、氷が割れて水中に転落して死亡する事故が発生しています。同所は、活火山であり、御釜周辺の「馬の背カルデラ」エリアは想定火口域とされており、安全確保のため入り禁止となっていますので、絶対に立ち入らないでください。また、バックカントリースキー等の行為は危険を伴いますので、安易な行動は厳に慎んでください。(宮城県情報) ● 令和5年2月、登山者1人が刈田岳に単独登山中、吹雪のため経路が分からなくなる遭難事案が発生しています。悪天候のため、雪上車を使用した捜索を実施した結果、遭難者を発見救助することができましたが、入山前に確実に天気予報を確認し、さらに、天候が変わりやすいという山の特性を理解し、荒天になる可能性がある場合は登山の中止を検討するなど、遭難防止を最優先した行動を心掛けてください。(宮城県情報) ● 令和6年2月、3人が蔵王ロープウェイの地蔵山頂駅からユートピアゲレンデまでトレッキング中、霧のために道に迷い遭難しています。山では、霧など山岳特有の気象変化で道に迷う遭難が発生しています。携帯電話のGPS機能を活用して、自身の位置情報の把握して道迷いを防ぎましょう。(山形県情報)
16	宮城県	いずみ がたけ 泉ヶ岳	1,172	<ul style="list-style-type: none"> ○ 泉ヶ岳は、仙台市の北部に位置し、「仙台市民の山」とも称される都市近郊の山です。例年、北斜面のスプリンギングバレースキー場や南斜面の泉ヶ岳スキー場を中心に多くの利用者があります。 ○ 泉ヶ岳はアクセスの良さや標高の低さから「簡単に登れる山」と思われがちで、登山計画や装備の不備が原因の山岳遭難が発生しています。 ○ 泉ヶ岳も山頂付近は積雪で登山道が不明確となっている上、天候も急変しやすくなりますので、十分な計画と備えの徹底、適切な体調管理や体力配分、悪天候時の早期登山中止と下山の判断などが求められます。 ○ また、経験が浅い登山者は経験豊富な登山者に同行してもらうなど、標高の低い山でも侮らず、万全の状態で入山してください。 ○ 昨年に比べ、クマの目撃情報が多く寄せられています。冬眠しないクマ、冬眠できないクマもいることが予想されます。少しでもクマについての危険性があるのであれば入山は控えてください。 ● 泉ヶ岳表コースを単独登山中の登山者が積雪により道に迷い捜索隊に救助された事案、水神コースを単独登山中の登山者が下山中に道に迷い警察に救助された事案、軽装で午後から入山した登山者2人が日没までに下山できなくなり消防に救助された事案などが発生しています。 ● 令和3年11月から翌年1月までの間、単独入山した登山者が行方不明となる遭難が2件発生しています。
17	秋田県	もりよしざん 森吉山	1,454	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の森吉山は、ガスの発生や吹雪による視界不良等の日が多く、登山者(山スキー)の遭難事案が発生しています。森吉山は悪天候が長く続く山で、捜索救助活動すらできないこともありますので、天候を見極め、決して無理をしないことが重要です。登山届は阿仁スキー場ゴンドラ山麓駅でも提出できますので、忘れずに提出してください。 ○ 阿仁スキー場ゴンドラを気軽に利用できますが、安易に装備等を簡略化することなく、万全の装備で入山をお願いします。 ○ 阿仁避難小屋は積雪により使用不能となることがありますので注意が必要です。 ○ 国道から阿仁スキー場までの道路は、通年通行が可能となっています。 ● 令和4年2月、山スキーで森吉山山頂に向かった単独登山者が、吹雪のため登山ルートから外れ滑落する事案が発生しています。 ● 令和5年1月、2月、下山中に道に迷い、捜索隊に救助される事案が発生しています。 ● 令和7年2月、下山中、視界不良により道に迷い、捜索隊に救助される事案が発生しています。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
18	秋田県 山形県	ちょうかいざん 鳥海山	2,236	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の鳥海山は天候が急変しやすく、一旦吹雪になると視界ゼロの状態が何日も続くことから、登山者はほとんどいません。登山を試みる場合には本格的な冬山登山の知識と十分な経験、装備が必要です。 ○ 7合目(御浜付近)より上は、硬い氷に覆われ、クランポン(アイゼン)も刺さりにくい状態になり特に注意が必要です。 ○ 御浜小屋(7合目)と頂上小屋は無人となりますが、避難場所として利用できます。しかし、積雪により小屋が埋もれた際は使用不可能となるので注意が必要です。 ○ 滝ノ小屋、湯ノ台の各ルートも鳥海高原家族旅行村までは除雪されますが、その先は閉鎖されます。積雪時は、鳥海高原家族旅行村から鳳来山を経由して湯ノ台コースで滝ノ小屋に宿泊後、山頂を目指すことも可能ですが、傾斜がきつくかなりの技術・体力を要します。 ○ 遊佐町白井新田から入る長坂道には避難小屋がなく、また、万助道には万助小屋が避難小屋として使用されていますが、どちらのコースも積雪が多く大変危険です。 ○ 祢川、猿倉各コースに通じる道路は、11月上旬から翌年5月中旬まで通行止めとなり車両の通行はできません。(由利本荘市情報) ○ 百宅コースに通じる道路は、大雨の影響により道路状況が悪化し、当面の間通行止めとなっております。(由利本荘市情報) ○ 祢川ヒュッテ(5合目)と七ツ釜避難小屋(8合目)は、無人となりますが、避難場所として利用できます。しかし、積雪により小屋が埋もれた際は使用不可能となるので注意が必要です。(秋田県情報) ○ 山小屋開設情報へ大清水避難小屋、唐獅子避難小屋(通年利用可能)(秋田県情報) ● 令和3年4月上旬、鳥海山に登山し頂上からスキーで滑走下山中に、新雪にスキー板を取られて転倒し、負傷した事案が発生しています。 ● 令和4年4月上旬には、笙ヶ岳付近にできたクレバス(雪の割れ目)に登山者が転落して死亡する事が発生しています。冬から春に季節が移る時期はクレバスができやすいため、足元に注意した登山を心掛けてください。(山形県情報) ● 令和7年11月上旬、軽装の登山者2名が強風や降雪で身動きができなくなり、御浜小屋に避難後救助される事案が発生しています。標高の高い場所では、降雪などにより環境が一変します。無理のない登山計画と万全の装備が必要です。(山形県情報)
19	山形県	がっさん 月山	1,984	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月山は天候が変わりやすい上に積雪が多いため、雪庇の崩落や雪崩の発生が懸念されるため、無理のない登山計画と万全の装備が必要です。 ● 平成26年1月、湯殿山と姥ヶ岳の間にある石跳沢においてバックカントリースキーヤー1人が雪崩に巻き込まれ、捜索中の救助隊員が、ビーコン反応により遭難者を遺体で発見しています。入山時は、ビーコン、プローブ、ショベル等の装備品を万全にし、複数名で入山しましょう。登山届を提出しましょう。 ● 令和6年3月、月山4合目付近において、遭難者を含む27人のグループでスノーモービルを使用したグループ走行中に転倒し、死亡する事案が発生しています。
20	山形県 福島県	あづまれんぼう 吾妻連峰 にしあづまやま 西吾妻山	2,035	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「吾妻山(一切経)」は令和元年6月17日に噴火警戒レベルが「1」に引き下げられていますが、浄土平から一切経山までの直登ルートは継続して通行規制がされています。(福島県情報) ○ 吾妻連峰は日本海側気候と太平洋側気候の境界で、天候が急変しやすく、また、福島県と山形県では天候が異なるので十分注意が必要です。特に、県境の尾根付近では、迷いやすいので、GPSナビの携帯が必要となります。 ○ 山小屋は、有人の慶応吾妻山荘、吾妻小舎、無人の家形山避難小屋、酸ヶ平避難小屋、谷地平避難小屋、弥兵衛平小屋(旧明月荘)、西吾妻小舎があります。慶応吾妻山荘、吾妻小舎は冬期間閉鎖のため使用できません。(福島県情報) ○ グランデコスノーリゾートから西大巔、西吾妻山のルートは、シラビソの樹林帯が続き、山頂付近は樹氷帯となって方向を見失いやすく注意が必要です。 ○ 家形山から東大巔、篠十郎、西吾妻にかけての福島・山形県境尾根、特に西吾妻山頂北側稜線一帯は、吹雪になるとホワイトアウト状態となり地形がながらかなため迷いややすく、毎年遭難が発生しています。 ○ 冬期間、西吾妻(西大巔、東大巔)を目指す山形県側のルートは、天元台スキー場、若女平の各ルートがメインとなりますが、積雪が多く悪天候時には猛吹雪に注意が必要です。また、スキーヤー、スノーボーダーが入り込むため、トレースに十分な注意を要します。 ○ グランデコスノーリゾートは、毎年11月下旬から4月下旬まで営業(降雪や融雪の関係で変更の可能性あり。)しています。リフト等の運行時間等については、事前に確認してください。(福島県情報) ● 平成6年2月、山岳スキーの7人パーティーが福島県側の家形山から山形県側滑川温泉に向かう途中、稜線上の霧ノ平で吹雪に見まわれ、5人が死亡する遭難が発生しています。(福島県情報) ● 西大巔、西吾妻付近のルートでは、令和2年1月(1人無事救出)、令和4年2月(1人死亡発見)、同3月(1人死亡発見)、令和5年2月(1人無事救出)、同3月(1人軽傷)、令和6年12月(1人行方不明)と毎年のように遭難が発生しています。(福島県情報) ● 令和6年2月・5月、山形県天元台側から入山した単独行の登山者が行方不明、同年3月にはバックカントリースキー目的と思われる登山者が死亡しています。携帯電話のGPSを活用するなど位置情報の把握を行うとともに、複数での行動を行い遭難防止に努めてください。(山形県情報)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
21	山形県 福島県 新潟県	いいでれんぼう 飯豊連峰 いいでほんざん 飯豊本山	2,105	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬期間は、積雪のため、天狗平ロッジに至る狭隘な山岳道のルートファインディングが困難なので、山形県小国町側の飯豊連峰へのアプローチは困難で、石転ビ沢、梶川、丸森、ダイグラの各コースも積雪により通行出来ません。(山形県情報) ○ 山形県側から飯豊連峰へ入山する場合は、雪崩、雪庇崩落等が懸念されますので、ルートを熟知した経験豊富なリーダーが必要です。装備品を万全にし、安全な登山を心掛けてください。(山形県情報) ○ 飯豊連峰福島県側の山小屋のうち、三国小屋、切合小屋、本山小屋は、10月上旬から6月下旬まで管理人が不在となります。避難小屋としては利用可能です。また、弥平四郎登山口から直ぐの祓川山荘は、通常管理人が不在ですが冬期間は避難小屋として利用可能です。御沢キャンプ場は、1.5キロメートル手前から、車両通行止めとなります。(福島県情報) ○ 痴岩山より上は携帯電話が使用可能となります(場所により不通の箇所もあります。)。(福島県情報) ○ 年末から厳冬期にかけては、偏西風の影響をとともに受け、稜線一帯は大荒れとなり、大雪が降り、雪庇も発達しますので注意が必要です。 ○ 福島県側から山形県、新潟県側への縦走・下山ルートは、大量の積雪に加え、猛吹雪が何日も続くこともありますので、途中の避難小屋の状況を確認するなど、事前の準備を行い悪天候に備えてください。
22		えぶりさしだけ 朳差岳	1,636	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大石ダム登山口を基点として朳差岳へ登山する場合、東俣川沿いのコースは雪崩の多発地帯のため、登山は大変危険となります。また、西俣川沿いの登山道は未整備のため、現在は年間を通して立入禁止になっています(新潟県情報)。
23		おおいしやま 大石山	1,567	<ul style="list-style-type: none"> ○ 足の松尾根コース(大石山)～新潟県胎内市から入山する足の松尾根コースは、登山口に至る県道が積雪期は閉鎖されます。冬期間は大量の積雪により雪崩の多発地帯のため、登山は大変危険となります(新潟県情報)。
24		きたまただけ 北股岳	2,025	<ul style="list-style-type: none"> ○ 加治川ダムから湯ノ平温泉の間は通常通行止めとなっているため、新発田市側からの入山はできません。(新潟県情報)
25		だいにちだけ 大日岳	2,128	<ul style="list-style-type: none"> ○ オンベ松尾根コース(大日岳)～新潟県阿賀町から入山するオンベ松尾根コースは、冬期間は大量の積雪により雪崩の多発地帯のため、登山は大変危険となります(新潟県情報)。
26	山形県 新潟県	あさひれんぼう 朝日連峰 おおあさひだけ 大朝日岳	1,870	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬期間、朝日連峰の各登山口付近は、積雪が多く、登山口までのアプローチが長く登山自体が困難であるため、朝日連峰への入山には十分な装備品、食料等、綿密な計画、経験豊富なリーダー等が必要です。
27		かんこうさん 寒江山	1,695	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟県側から朝日連峰(寒江山)への入山口は、村上市の奥三面ダムからとなります。冬期間は村上市岩崩集落から通行止めとなります。入山口から朝日連峰は、大量の積雪による雪崩の多発地帯のため、登山は大変危険です。(新潟県情報)
28		いわいがめやま 祝瓶山	1,417	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祝瓶山への冬期間の登山者はほとんどいません。祝瓶山に続く県道木地山九野本線の除雪は、長井ダム管理支所までとなり、同所から木地山ダムまでは約10km、木地山ダムから祝瓶山荘まで、約6kmとなります。冬期間、木地山ダム付近は、積雪に加え悪天候が重なることから、十分な経験と装備が必要です。(山形県情報)
29	福島県	あだたらやま 安達太良山	1,700	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標高が1,700m台で、比較的気軽に登山を楽しめる山ですが、なだらかな尾根が多く、悪天候時は迷いやすいので、十分注意してください。 ○ 年末年始から1月中旬にかけては、例年積雪も少なく、「あだたら高原スキー場」等から登山できますが、天候の急変で大荒れとなることも予想されますので、気象条件を十分把握してください。 ○ 1月中旬以降は、天候が不安定となり、安達太良山頂から馬の背、鉄山、箕輪山、鬼面山にかけての稜線は西からの強風にさらされるとともに、風下側には雪庇が発達して危険ですので、十分注意してください。 ○ 「沼の平」は火山性有毒ガスが発生し、危険ですので立ち入らないでください。 令和5年7月に火山性有毒ガスが原因と思われる遭難(1人死亡)が発生しています。 ○ くろがね小屋は、令和5年4月から建て替え中につき使用不可となります。 ○ あだたら高原スキー場は、12月中旬から3月までオープンしていますが、スキー場と薬師岳みはらし台直下をつなぐ「あだたら山ロープウェイ」は、冬期間運行ていませんので、注意してください。 ○ 箕輪スキー場は今シーズンの営業が決まっていませんので、地元観光協会等に確認してください。 ● 令和元年12月(1人無事救出)、令和3年3月(1人無事救出)、令和4年2月(2人死亡)、同3月(1人重傷)、令和7年2月(1人死亡)と毎年のように遭難が発生しています。
30	福島県	ばんだいさん 磐梯山	1,816	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山頂直下の弘法清水小屋、岡部小屋は11月中旬から冬期間は閉鎖され、避難小屋としての利用もできません。宿泊には必ずテントを用意してください。 ○ 裏磐梯銅沼周辺から南側の「噴火口急斜面」付近は、火山性ガスが噴出しているので、迷い込まないよう注意してください。 ● 令和5年3月、低体温症により死亡1人、軽傷1人の遭難が発生しています。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
31	福島県	あいづこまがたけ 会津駒ヶ岳	2,133	<ul style="list-style-type: none"> ○ 滝沢登山口及びキリンテ登山口からの夏ルート以外は、雪崩の危険性が高いので注意してください。特に下ノ沢は大きな雪崩の危険があります。 ○ 山頂北側の御神楽沢と山頂から西側の大倉沢・赤柴沢には迷い込まないよう注意してください。 ○ 例年11月下旬以降、山稜全体が豪雪で覆われ、山頂直下の「駒の小屋」は冬期間は閉鎖のため利用できなくなりますので注意してください。 ● 令和5年3月、スキーで滑走中に雪面に飛び出していた枝にスキー板を挟んで転倒し、重傷を負う遭難が発生しています。 ● 令和5年4月、木道を誤認して雪を踏み抜き滑落し、負傷する遭難が発生しています。
32	福島県	ひうちがだけ 燧ヶ岳	2,356	<ul style="list-style-type: none"> ○ 尾瀬周辺の山小屋は10月下旬から冬期間は全て閉鎖となり、ゴールデンウィークころまで利用できません。管理人も不在で避難小屋としての利用もできませんので、入山時は注意してください。 ○ 御池登山口から夏道をたどって山頂に至るルートが一般的ですが、広沢田代と熊沢田代手前の急斜面では、一部雪庇が張り出し雪崩の危険もあるので注意してください。 ○ 付近の道路については、冬期間閉鎖となります。除雪はミニ尾瀬公園までしか行われませんので、車両を乗り入れる際は、除雪状況を確認してください。 ● 平成31年3月、1人が雪崩に巻き込まれ死亡する遭難が発生しています。
33	東京都 埼玉県 山梨県	くもとりやま 雲取山	2,017	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例年の積雪は20~50cmで、冬山装備での入山が必要です。また、積雪がルートを消してしまい道に迷うおそれがあるので、経験者をリーダーにして入山してください。 ○ 三条の湯から水無尾根に至る登山道は、道幅の狭い箇所や登山道が崩壊している場所などがあり、滑落や転倒等に注意してください。 ○ 雲取山から将監峠に至る稜線上の登山道には、道幅の狭いところがあり、凍結による滑落や転倒等に注意してください。 ○ 三条の湯までのアクセス道路の「後山林道」は、片倉山ゲートまで車両通行可能です。(山梨県情報) ○ 埼玉県側の主要登山口は、三峰神社登山口となります。山頂までの距離は11kmで冬期間は万全な冬山装備と体力が必要です。(埼玉県情報) ○ 埼玉県側の「芋の木ドッケ巻道」は北斜面で凍結となりますので、アイゼンを装着し十分に注意してください。(埼玉県情報) ○ 埼玉県では、パソコン、スマートフォンから登山届を提出できます。(埼玉県情報) ● 令和6年3月、雲取山から下山中の登山者が白岩山付近でアイゼンの刃を岩に引っ掛けてしまい、約100メートル滑落する事案が発生しています。 ● 令和7年中、七ツ石小屋付近において登山道から足を踏み外して滑落する事案が多発しています。
34	茨城県	つくばさん 筑波山	877	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筑波山は低山ですが、冬期間は夕暮れも早く、午後遅くなつてからの登山は道迷い等の事故につながりますので、計画的な登山をしてください。なお、場所によっては携帯電話が通じにくいことがあります。 ○ 降雪は少ないですが、北向きの場所では、天候によっては凍結するおそれがありますので、足元には十分注意が必要です。 ○ 雪が降った後は、岩場も多く、日陰の場所では雪が溶けにくく危険ですので、アイゼンを携行するなどして転倒・滑落に充分気をつけてください。 ○ 近年足を滑らせたり、道に迷い正規のルートからはずれ、転倒する事故が発生しています。登山時は事前にルートをよく確認し、地図を持参するなど十分な準備をした上で、正規ルートを歩いてください。 ○ 茨城県警ホームページからも登山届を提出できます。 ● 令和6年10月、3人パーティーで登山中の登山者1人が白滝神社付近で滑落し、死亡する事故が発生しています。 ● 令和7年1月、単独登山者が凍結した岩場で足を滑らせ、重傷を負う事故が発生しています。
35	栃木県	ちやうすだけ 茶臼岳	1,915	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年11月初旬に初冠雪があり、これ以降の登山は冬山の完全装備が必要です。冬型の気圧配置になることも多く、特に、峰の茶屋付近の突風には十分な注意が必要です。また、避難小屋はあくまでも緊急避難施設なので宿泊はしないようにしてください。 ○ 登山口となるロープウェイや峠の茶屋に至る道路は、冬期(主に12月から3月の間)は運休及び通行止めとなるため、事前の確認をしてください。 ○ 茶臼岳は活火山ですので、登山する前に噴火警戒レベルを確認するなど情報収集に努めてください。 ● 令和5年11月、ロープウェイ山頂駅付近で下山中の登山者が滑落して死亡する事故が発生しています。
36	栃木県	あさひだけ 朝日岳	1,896	<ul style="list-style-type: none"> ○ 每年11月初旬に初冠雪があり、これ以降の登山は冬山の完全装備が必要です。峰の茶屋から朝日岳山頂に向かうルートは、強風が吹くことが多く注意が必要です。 ○ 茶臼岳と同様、登山口となるロープウェイや峠の茶屋に至る道路は、冬期(主に12月から3月の間)は運休及び通行止めとなるため、事前の確認をしてください。 ● 令和5年10月、山頂から峰の茶屋に至る登山道で、強風及び降雨のため登山者4人が死亡する事故が発生しています。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
37	栃木県	なんたいさん 男体山	2,486	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年11月初旬に初冠雪があり、これ以降に日光連山へ入山する場合は冬山の完全装備が必要です。男体山への登山口である二荒山神社中宮祠口は、冬期間(11月12日～翌年4月24日)は閉鎖され入山できません。志津小屋登拝口からの入山は可能ですが、危険箇所もあるので登山には十分注意してください。 ○ 積雪期の登山は、十分な計画、装備、注意が必要です。 ○ 男体山は活火山ですので、登山する前に噴火警戒レベルを確認するなど情報収集に努めてください。
38	栃木県 群馬県	にっこりしらねさん 日光白根山	2,578	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栃木・群馬両県境に位置する白根山に至るメインの登山ルートは群馬県側にあります。栃木県側からの登山ルートは全て急な斜面で、山頂付近はガレ場となっており、積雪の時期は雪崩のおそれもあり危険です。 ○ 日光山地一帯は谷川岳と同様気象の変化が激しい場所です。入山にあたっては、防寒対策など十分な冬山装備を準備してください。 ○ 弥陀ヶ池から山頂の間は、急なガレ場であり、浮き石も多くなるので落石やスリップに注意が必要です。(群馬県情報) ○ 金精道路は、12月25日正午から翌年4月25日正午までの間、丸沼スキー場から金精トンネル(栃木県境)までの区間が閉鎖となる予定です。 ○ 日光白根山は活火山ですので、登山する前に噴火警戒レベルを確認するなど情報収集に努めてください。 ● 平成29年2月、登山者2人が、悪天候(吹雪)に起因する2件の遭難が発生し、うち1人の行方が未だに分からぬ事故が発生しています。登山に際しては、天候の確認を行い、天候の急変時は早期に登山の中止を判断するなど、安全登山に心がけてください。(群馬県情報) ● 令和3年12月、単独登山者が、吹雪で身動きがとれなくなり、避難小屋へ避難するも凍傷で歩行困難となる事故が発生しています。(栃木県情報) ● 令和4年12月、単独登山中、アイゼンが岩に引っ掛かりバランスを崩して滑落し、重傷を負う事故が発生しています。(栃木県情報)
39	栃木県 群馬県	すかいさん 皇海山	2,144	<ul style="list-style-type: none"> ○ 栃木県側からの登山ルートは、足尾町銀山平から庚申山を経由し皇海山へ至るルートです。このルートはロングコースで、積雪が多く道標も隠れてしまうため非常に危険です。また、庚申山中腹に庚申山荘があり、宿泊、休憩が可能ですが、道標が積雪で隠れてしまい道に迷う危険もありますので注意が必要です。(栃木県情報) ○ 庚申山荘から皇海山頂に至るルートは2つあります。 <ul style="list-style-type: none"> 1つは鋸山11峰を経由して皇海山に至る一般的なルートですが、鋸山周辺は積雪が多く、滑落や雪崩の危険性があり通行できません。 もう1つは、六林班峠を経由して皇海山に至るルートですが、こちらも積雪で道標が隠れてしまい非常に危険です。 登山する場合は、地理に詳しい人が同行したり、事前に徹底した調査を実施し、山中泊を想定した十分な装備を携行することが必要です。(栃木県情報) ○ 群馬県側からの登山口は皇海橋ですが、皇海橋に通ずる栗原川林道は現在廃道になっています。(群馬県情報)
40	群馬県	くさつしらねさん 草津白根山	2,171	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白根山、本白根山、逢の峰等の一帯を総称して草津白根山と呼称します。 ○ 草津白根山は活火山であり、白根山(湯釜付近)は現在「噴火レベル1」として、湯釜火口から500m以内の立入りが禁止されています。 最新の噴火警戒レベルを確認するなど、情報収集に努めてください。 ○ 冬期間は強風で粉雪が吹き上げられ、視界が全くきかない状況が多発することがあり注意が必要です。 ○ 硫化水素ガスが噴出する危険箇所では、立入禁止措置がとられています。中には立ち入らないようにしてください。 ○ 長野県の志賀高原に通ずる志賀草津道路は、11月12日午後1時から翌年4月22日午前10時までの間は閉鎖されています。
41	群馬県	こもちやま 子持山	1,296	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標高は、1,300m足らずの低山ですが、この時期、山頂付近は天候が急変することが予想されます。登山に際しては、事前に気象情報を確認し、無理な登山はしないでください。
42	群馬県	みかほやま 御荷鉢山	1,286	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近年、みかほスーパー林道が開通したことにより、マイカーで簡単に林道まで上がり、稜線伝いに西御荷鉢山、東御荷鉢山を縦走することができるようになりましたが、入山に際しては決して無理をせず、早め早めの行動を心掛けてください。 ○ みかほスーパー林道は、12月10日から翌年4月20日の間は冬期間閉鎖されます。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
43	群馬県	みょうぎさん 妙義山	1,104	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白雲山、金洞山、金鶏山の3山を表妙義、中木川左岸の山塊を裏妙義と呼んでおり、山域は安中市松井田、富岡市妙義、下仁田町の2市1町に位置しています。 ○ 高さこそ1,100m程度の山ですが、急峻で谷が深く、入り組んでおり、地形が複雑です。このため、県内においては谷川岳の次に遭難が多く発生していますので、登山する場合は、事前にコースをよく確認し、道をはずれたり、沢等に入らないよう注意してください。 ○ 初心者でも楽しめるコースとして、白雲山麓の妙義神社から金洞山中腹の中之岳神社、石門群までをほぼ水平に絡むコースで、現在は関東ふれあいの道「さくらの里と石門のみち」として整備されていますが、妙義山の場合、初心者コースといえども、岩場の連続であり、細かい上り下りが多いため、子供連れなどには向かない場所です。「人が行くなら私も」という安易な気持ちから、思わぬアクシデントも少なくないで慎重を期してください。 ○ 上級者コース等の危険な岩場に安易に立ち入り、滑落する事故が後を絶ちません。技術や装備のない初心登山者は、危険な岩場には立ち入らないようにしてください。 ○ 中間道は、登山道崩落により、現在、一部通行禁止の措置がなされています。 ○ 「星穴岳」は登山禁止となっています。
44	群馬県	ほたかやま 武尊山	2,158	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標高2,158mの沖武尊を最高峰に、家ノ串、剣ヶ峰、前武尊などの峰々から形成されています。 ○ 沖武尊、前武尊、中ノ岳はともに標高が高いことから、天候の急変に備えた防寒対策は欠かすことできません。 ○ 入山に際しては、コースや所要時間等について事前に確認しておくことが必要です。無理をせず、天候の急変や予定時間が遅れた場合には、直ちに下山するよう心掛けてください。 ○ 近年、スキー登山者が増えていますが、新雪の中でコースを誤り遭難するという事例が多く見られますので、無理な行動は厳に慎んでください。 ● 平成31年2月、単独登山者が滑落により死亡する事故が発生しています。 ● 令和5年2月、バックカントリー中の3人パーティーのうち、1人が雪崩に巻き込まれ死亡する事故が発生しています。
45	群馬県	あかぎさん 赤城山 くろびさん 黒檜山	1,828	<ul style="list-style-type: none"> ○ 赤城山は県中央部に位置し、最高峰の黒檜山をはじめ、駒ヶ岳、薬師岳などの外輪山のほか、中央火口丘の地蔵岳、長七郎山、鍋割山、鈴ヶ岳等で形成されています。 ○ 冬型の気圧配置の場合、山頂付近は雪となるおそれがありますので、事前に気象情報を確認してください。 ○ 過去の遭難事例を見ると「コースを外れての道迷い」がそのほとんどです。低山といえども、入山に際しては地理に詳しい人の同行やコースの事前調査を忘れないでください。 ● 令和2年3月、単独登山者が滑落により死亡する事故が発生しています。
46	群馬県	けさまるやま 袈裟丸山	1,878	<ul style="list-style-type: none"> ○ 足尾山塊の南端に、いくつかのピークからなる袈裟丸連峰がありますが、その中でも一般に袈裟丸山と呼ばれているのは、一等三角点のある前袈裟丸山です。 ○ 11月初旬には、山頂付近で初雪が見られることがあります。冬季の登山は、天候の急変が予想されるため、事前に気象情報を確認してください。 ○ 登山ルートは、大滝から小中川に沿って上流に上った地点から登るコース（郡界尾根コース）のほか、表登山道ともいえる塔ノ沢コースと弓ノ手新道コースがありますが、折場登山口から竇の河原を経て、山頂に至る弓ノ手コースが最短距離となります。 ○ どのコースも整備されていますが、過去には道迷いによる遭難が発生していますので、登山の際は事前にコースの確認を必ず行ってください。
47	群馬県	しぶつさん 至仏山	2,228	<ul style="list-style-type: none"> ○ 尾瀬周辺の山小屋は、10月中には営業を終え閉鎖となり、長い冬を迎えます。 ○ 尾瀬に通ずる道路は、11月上旬～翌年4月中旬までの間、閉鎖されます。 ○ 冬季の登山の際は、防寒対策など十分な装備を整えるほか、事前の気象情報を確認することが重要です。 ○ 尾瀬ヶ原の木道はよく整備され歩きやすいという利点がある一方で、雪や雨が降れば、途端に滑りやすくなりますので、十分な注意が必要です。 ○ 山頂～山の鼻間は、標高800mの急勾配です。同区間の登山道は、環境保護のため、登り専用が呼びかけられています。 ○ 至仏山は、滑りやすい蛇紋岩多いため、特に下山時には細心の注意が必要です。 ● 平成28年2月、登山中の2人が悪天候から死亡する事故が発生しています。スキー登山を含め、事前に気象情報を確認し、荒天が予想される場合は、登山を控えてください。
48	群馬県	はるなさん 榛名山 かもんがたけ 掃部ヶ岳	1,449	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上毛三山の一つである榛名山は、カルデラ湖の榛名湖を中心に、最高峰の掃部ヶ岳、相馬山、榛名富士などの山々から形成されています。 ○ 冬型の気圧配置の場合、山頂付近は雪となるおそれがありますので、事前に気象情報を確認してください。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
49	群馬県 新潟県	たにがわだけ 谷川岳 たにがわれんぼう 谷川連峰	1,963	<ul style="list-style-type: none"> ○ 群馬県谷川岳遭難防止条例に定める冬山期間中(12月1日から翌年2月末までの間)は、「危険地区」に登山しないよう自粛してください。(前記期間中、登山指導センターは閉所となります。) なお、冬山期間以外において、「危険地区」に登山される方は、登山しようとする10日前までに谷川岳登山指導センターに登山届の提出が必要です。届出をしないまま、危険地区に登山した場合は、条例に基づき、罰則が科せられることがありますので注意してください。 詳しくは、谷川岳登山指導センター (https://www.pref.gunma.jp/page/1583.html)に問い合わせてください。 ○ 谷川岳の気象は、大陸からの影響を強く受け、局地的に低気圧ができやすいことから、大雪、降雨、濃霧となる場合が非常に多く、天候も急変しやすい場所なので、登山に際しては、事前の気象情報を確認し、十分な装備を準備してください。 ○ 近年、スキー登山者が増えていますが、積雪期には、雪崩が起きやすいため、危険な場所への立入りは控えてください。 ○ 国道291号「ロープウェイ駅～一ノ倉沢」間は、11月11日午前10時から翌年5月23日午前10時までの間、閉鎖されます。(群馬県情報) ○ 新潟県側から谷川連峰への入山コースは、湯沢町の平標新道、松手ルート、平元新道、吾作新道、茂倉新道、蓬新道等がありますが、この地域は有数の豪雪地帯で、大量の降積雪がありますので、沢や山腹斜面ではいたるところで、常に雪崩の危険が伴います。積雪期の谷川連峰は経験のあるリーダーの元で、十分な冬山装備で行動し、単独での登山は厳に慎んでください。(新潟県情報) ● 令和4年2月、2人パーティーで登山中の2人が低体温症より死亡する事案が発生しています。(群馬県情報) ● 令和5年1月、バックカントリー中の4人パーティーのうち1人が雪崩に巻き込まれ死亡する事案が発生しています(群馬県情報)。 ● 令和6年3月、バックカントリー中の3人パーティーのうち1人が雪崩に巻き込まれ死亡する事案が発生しています(群馬県情報)。
50	群馬県 新潟県	たいらっぴょうやま 平標山	1,984	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平標山への松手山ルート及び平元新道の起点となる元橋駐車場は国道17号の路上駐車防止のために除雪をしていますが、降雪が続くと除雪が間に合わないこともあります。路上駐車や「苗場ふれあいの郷」地内での迷惑駐車はしないでください。(新潟県情報)
51	群馬県 新潟県	しげくらだけ 茂倉岳	1,978	<ul style="list-style-type: none"> ○ 茂倉新道は土樽からの登りはじめは、深雪で胸までのラッセルとなることがあります、状況によっては、1日のコースが2~3日にも及ぶことになります。さらに上部の「矢場ノ頭」直下はヤセ尾根となります。「矢場ノ頭」から上の稜線では天候の変動が激しくガスが発生しやすいため、ホワイトアウトによる道迷いが発生しています。(新潟県情報) ○ 谷川連峰に至るどのルートにおいても、ヤセ尾根の危険箇所が積雪で隠れている場合がありますので注意してください。(新潟県情報)
52		せんのくらやま 仙ノ倉山	2,026	<ul style="list-style-type: none"> ○ 仙ノ倉山は平標山と同様に、元橋駐車場は国道17号の路上駐車防止のために除雪をしていますが、降雪が続くと除雪が間に合わないこともあります。 また仙ノ倉山から東の谷川岳方面へは起伏のある地形となっているため注意してください。(新潟県情報)
53		よもぎとうげ 蓬峠	1,529	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬期間の縦走登山は天候への配慮と行動不能時のビバークに対する装備、食料計画、エスケープルートの検討等を十分行ってから入山してください。冬山は常に吹雪であることを前提に計画し、予備日や予備食・非常食のない登山は行わないでください。(新潟県情報)
54	群馬県 新潟県	まきはたやま 巻機山	1,967	<ul style="list-style-type: none"> ○ 谷川連峰の朝日岳～巻機山縦走コースはエスケープルートがないことから、初心者は避けてください。(群馬県情報) ○ 巷機山の主要登山口は新潟県南魚沼市清水ですが、冬期間は、清水集落から登山口の桜坂駐車場までは積雪のため車両は通行不能となりますので清水集落からのアプローチとなります。駐車場はありません。(新潟県情報) ○ 冬期間は、大量の積雪、強風、雪崩等多くの危険があります。特に沢筋は雪崩の危険性が高く、山岳スキー やスノーボードでスクビズ、米子沢等への滑走は大変危険です。また、9合目の避難小屋は雪で埋もれ使用不能となります。
55	群馬県 新潟県	ひらがだけ 平ヶ岳	2,141	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟県側から平ヶ岳への登山コースは、魚沼市の恋ノ岐コースと鷹ノ巣コースがあります。春の残雪期に群馬県側から縦走による登山が行われることがありますが、これまでに稜線からの滑落事故や春の吹雪によるホワイトアウトのルート喪失がありますので、春山の危険を認識した上で行動が必要です。(新潟県情報)
56	群馬県 長野県	あさまやま 浅間山	2,568	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火山活動のため、長野県小諸市、軽井沢町側の登山道については、気象庁が発表する「噴火警戒レベル」に応じた規制が行われますので、情報を確認してください。(長野県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ● 令和4年2月、3人パーティーでトミの頭を登山中に滑落して死亡する事案が発生しています。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
57	群馬県 長野県	あづまやさん 四阿山	2,354	<ul style="list-style-type: none"> ○ あづま屋のように、四方に張り出した尾根を持つことから、四阿山と名付けられたこの山は、上信国境にあり、浅間・黒斑に次ぐ高峰で、吾妻山とも呼ばれています。登山口は群馬県側に鳥居峠、バラギ湖、野地平と3か所にあります。 ○ 冬期間は、深い積雪が予想されるため、初心者による登山は控えてください。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ● 平成30年2月、冬山トレッキング中の登山者が、悪天候からコースを見失い、低体温症(重傷)で救助された事案が発生しています。入山に際しては、気象状況や十分なコース確認を行うなど、細心の注意をしてください。(群馬県情報)
58	埼玉県	りょうかみさん 両神山	1,723	<ul style="list-style-type: none"> ○ 八丁トンネル登山口へのアクセスは、林道の土砂崩れの影響により、上落合橋側及び志賀坂トンネルからは通行止めとなっています。 ○ 八丁峠から山頂への北側斜面は凍結しやすくなっています。また、岩場が多く鎖場がありますが、降雪時には鎖が埋もれて見えないことがあるのでよく確認してください。 ○ 八丁峠～西岳～山頂ルートは距離が長く、積雪時非常に危険なので、十分な装備を準備し、余裕を持った登山計画を立ててください。 ○ 両神山作業道を登山に使う登山者が増えています。作業道は登山道ではありません。自己の登山能力と体力とマナーを守った計画を立ててください。 ○ 天理尾根は道が整備されておらず、凍結もあり非常に危険です。 ○ 西岳～尾の内沢コースは、登山道が整備されておらず、現在崩落しています。別ルートの検討をお勧めします。 ○ 赤岩岳へ至る登山道は整備されておらず、岩場があり非常に危険なため、十分な装備を準備し、余裕を持った登山計画を立ててください。 ○ 七滝沢コースは、登山道の崩落により、閉鎖されています。 ○ 白井差コースは有料です。管理者に連絡を取って入山してください。 ○ 埼玉県では、パソコン、スマートフォンから登山届を提出できます。
59	埼玉県 山梨県 長野県	こぶしがたけ 甲武信ヶ岳	2,475	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪は、厳冬期の吹き溜まりで1m以上になります。 ○ 東沢、鶏冠尾根、賽ノ河原付近の登山道は、荒れおり危険なため特に注意してください。近年、アイスクライミング目的の入山者がみられます。 ○ 西沢渓谷入口までのアクセス道路は、バスが不動小屋前まで運行されています。 ○ 埼玉県側のコースは、「十文字峠、雁坂峠経由」となりますが、いずれも距離が長いことから、日数に余裕を持ち十分な冬山装備で登山計画を立ててください。 ○ 柳小屋から十文字小屋に至る登山道は、土砂崩れの影響により、登山道が埋まっている箇所があるので、通行には十分注意してください。(埼玉県情報) ○ 真の沢林道は廃道となっており、柳小屋から甲武信ヶ岳には登山できません。(埼玉県情報) ○ 雁坂峠の出会いの丘から黒岩尾根登山口に至る林道の一部の区間は、土砂崩れで崩落しています。(埼玉県情報) ○ 三国峠に至る中津川林道は、閉鎖となっています。(埼玉県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ○ 埼玉県では、パソコン、スマートフォンから登山届を提出できます。(埼玉県情報) ● 令和4年4月、単独登山者が甲武信ヶ岳へ登山中、三宝山付近において積雪で登山道を見失い、道に迷う事案が発生しています。(埼玉県情報)
60	神奈川県	丹沢 ひろがたけ 蛭ヶ岳 ひのきばらまる 檜洞丸 たんざわさん 丹沢山 とうのだけ 塔ノ岳 おおやま 大山 みつみねやま 三峰山	1,673 1,601 1,567 1,491 1,252 935	<ul style="list-style-type: none"> ○ 丹沢の冬は、西高東低の気圧配置になると晴れの日が多くなりますが、風が冷たく気温が下がり、朝晩は氷点下10度以下に冷え込むこともあります。十分な防寒対策をしてください。 ○ 12月になると数回の降雪があり、1月から3月上旬にかけて多い年には1m以上の積雪になることがあります。特に南岸低気圧の通過時には、平地は雨でも山では大雪となることがありますので注意してください。 ○ 登山道は、12月から3月にかけ朝晩の冷え込みで霜に覆われ、日中の日差しで霜が解けてぬかるみになり滑りやすくなります。北側斜面や日陰は、凍結して滑りやすくなっていますので注意してください。登山には軽アイゼンが必要です。 ○ 積雪が多くなると、行動に予想以上の時間がかかります。ゆとりをもった登山計画を立て、非常に備えツエルトを携行してください。また、登山道が積雪で隠れ道迷いが多くなりますので、登山地図やGPSで自分の位置を確認しながら進んでください。 ○ 道に迷った時は、来た道を分かる場所まで引き返してください。また、滑落・転落の危険性が高いので、沢は絶対に下らないでください。 ○ 神奈川県内の山域を登山する際は、神奈川県警察ホームページの登山計画書入力フォームからも、登山計画書の提出ができますので御利用ください。 ○ 神奈川県が管理する登山道については、大雨、台風等の影響で、現在も通行できない区間があります。登山を計画される際には、事前に神奈川県のホームページ等を御確認ください。 ○ 神奈川県内の山域においても、熊の出没情報がありますので注意してください。 ● 令和7年2月、大山において積雪で足を滑らせた登山者が転倒し、負傷(軽傷)する事案が発生しています。 ● 令和7年3月、三峰山において積雪で足を滑らせた登山者が滑落し、負傷(軽傷)する事案が発生しています。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
61	新潟県	妙高山	2,454	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬期間の妙高山は、急峻な斜面での雪崩、猛吹雪、強烈な北西風、視界不良、寒冷気候等多くの危険が潜んでおり、山岳スキー(スノーボード)での入山者による雪崩や雪庇の踏み抜き、技能の未熟、ホワイトアウトや地理不案内による遭難が発生しています。
62	新潟県	火打山	2,462	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬期間の火打山は、日本海側特有の荒天が連日続き、大量の降雪、雪崩、猛吹雪、強烈な北西風、視界不良、寒冷気候等多くの危険が潜んでいます。 ○ 火打山周辺は山岳スキー(スノーボード)の登山者が多く、妙高山と同様、雪崩やホワイトアウトによる遭難が毎年のように発生しています。山岳スキー(スノーボード)は十分な装備品を携行し、雪崩や天候に注意してください。
63	新潟県	焼山	2,400	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新潟焼山は、気象庁により24時間監視されている活火山です。 ○ 平成28年3月に、入山者の安全を確保するために想定火口(山頂から半径1km)内を警戒区域に設定し、入りを禁止していました(災害対策基本法第63条第1項による)が、平成30年11月15日に入り規制が解除となりました。 ○ ただし、新潟焼山は噴火警戒レベル1の活火山であり、入山される際は、山頂での長時間の滞在を控えるとともに、気象庁等の火山情報などを確認し、登山用ヘルメットの着用等、十分な装備品を携行してください。 ○ 平成27年6月から、新潟県条例により、「新潟焼山の活火山地区」(山頂から半径2km以内)に入山する際は、登山計画書の新潟県知事への提出が義務化されています。 ○ 厳冬期の新潟焼山は日本海側特有の荒天が連日続き、大量の降雪、雪崩、猛吹雪、強烈な北西風、視界不良、寒冷気候等多くの危険が潜んでいます。
64	新潟県	越後駒ヶ岳	2,003	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬期間の入山口は、駒ノ湯～小倉尾根経由のコースと群界尾根～駒の小屋コースがありますが、いずれも深いラッセルと、雪崩、雪庇崩落、吹雪による視界不良、滑落等多くの危険があります。 ○ 冬期間の越後三山は、ひとたび天候が崩れれば吹雪の日が続き、雪崩、雪庇崩落、滑落等の危険があります。また、道標は雪に埋もれて確認できないことがありますので、無雪期にコースを熟知し、かつ、経験豊富なリーダーの下で余裕ある計画を立てて行動することが必要です。
65	新潟県 長野県	高妻山	2,353	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山頂で長野県境と新潟県境が接している戸隠連峰の最高峰です。 ○ 冬期間は1～2mの積雪があり、一日で山頂に到達することは困難です。途中で幕営できる装備等を携行するとともに、沢筋は雪崩の危険性が非常に高いため、雪崩に遭わないよう尾根筋のルートを選定してください。(長野県情報) ○ 新潟県側から高妻山への登山道はありません。(新潟県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
66	新潟県 長野県	雨飾山	1,963	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雨飾山は長野県、新潟県の県境に位置し、豪雪で知られる頸城山群にあり、冬期間は豪雪のため入山者はほとんどいません。入山口となる糸魚川市の「雨飾山荘」は、冬期間は閉鎖されます。(新潟県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
67	新潟県 長野県	苗場山	2,145	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長野県、新潟県の県境にあり、冬期間は豪雪地帯のため、登山者はほとんどいません。近年、神楽ヶ峰から小松原方面、神楽ヶ峰から高石尾根へのクラシックコースに人気がありますが、毎年のように雪庇の踏み抜きによる転落事故、ホワイトアウトによる道迷いが多発しています。(新潟県情報) ○ 冬期間の苗場山は、日本海から吹きつける偏西風の影響で大量の積雪となり、ラッセルを強いられることとなりますので、多人数で構成するパーティーでの行動が必要です。(新潟県情報) ○ 神楽ヶ峰を下った鞍部から苗場山への尾根(雲尾坂)は、雪壁になる場所や、雪庇のせり出しがあり雪崩の危険性が十分ありますので、冬期間の登山は見合わせるなどの慎重さが必要です。(新潟県情報) ○ 山頂部は苗場山特有の高層湿原ですが、積雪期は大雪原となり、降雪時にはホワイトアウトになりやすく、強風によりトレースが瞬時に失われます。 ○ 長野県山ノ内町奥志賀スキー林道から山麓の「秋山郷」に至る道路も冬期間閉鎖のため、車両での通行はできません。(長野県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
68	新潟県 長野県 富山県	しろうまだけ 白馬岳	2,933	<ul style="list-style-type: none"> ○ 厳冬期の白馬岳は、大量の降雪と強い偏西風が長時間続き、深いラッセルや雪庇、雪崩、吹雪等による低温や視界不良、滑落など多くの危険が伴い、万全の装備と体力・精神力が必要です。また、大雪渓は雪崩の危険が高いため立ち入らないでください。(長野県情報) ○ 新潟県側の蓮華登山口は、冬期間、麓の木本地屋集落までしか道路は除雪されておらず、拠点となる宿泊施設「蓮華温泉ロッジ」は冬期間は閉鎖されています。(新潟県情報) ○ 富山県側からの一般ルートはありません。(富山県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ● 過去にも雪崩による大きな遭難が発生しています。昭和49年3月、白馬岳主稜末端で2パーティ5人が雪崩に巻き込まれ全員が死亡しています。
69	山梨県	みずがきやま 瑞牆山	2,230	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪は、登山道、樹林帯で1mくらい、沢筋では3m以上となります。 ○ 富士見平小屋から天鳥川上流の分岐点において、小川山方向への道迷いに注意してください。 ○ 山頂の岩場付近はアイスバーンとなります。スリップなどによる転倒、滑落等に注意してください。 ○ アクセス道路の林道は、瑞牆山荘まで通行可能ですが、滑り止めを準備することが必要です。
70	山梨県	だいぼさつれい 大菩薩嶺	2,057	<ul style="list-style-type: none"> ○ 厳冬期には50~100cmの積雪があり、日影部分はアイスバーンとなります。また、樹林帯を抜けた尾根道や山頂付近は秒速10m以上の突風が吹きますので、スリップや転倒に注意してください。 ○ 気温が急激に変化しますので、冬山装備の完備が求められます。
71	山梨県	ほうとうさん 鳳凰山	2,840	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪は、登山道、樹林帯で2mくらい、沢筋で3m以上になります。 ○ 観音岳(2,840m)、薬師岳(2,780m)、地蔵ヶ岳(2,764m)の各稜線は、突風による転倒、スリップ等による滑落に注意してください。 ○ 各沢筋や地蔵ヶ岳西側斜面付近における岩場での転倒・滑落に注意してください。 ○ 県営林道小武川線は、御座石線分岐から先の青木鉱泉方面について12月上旬から4月下旬まで通行止めです。御座石線は、御座石温泉まで通行可能です。 ○ 県営林道精進ヶ滝線は、12月上旬から4月下旬まで通行止めです。 ○ 夜叉神の森登山口までは車両通行可能ですが、積雪・凍結などにより通行止めとなる場合があります。 ○ 山梨県登山の安全の確保に関する条例により、12月1日から翌年3月31日の間に指定された区域に立ち入る際は、登山計画書の提出が義務化されています。 <p>(山梨の登山・山岳情報ポータルhttps://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/tozan_sangakujouhou.html)</p>
72	山梨県	きただけ 北岳	3,193	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪は、登山道、樹林帯で1~5mくらい、沢筋で2~6mくらいになり、小太郎尾根分岐から頂上の稜線では、雪庇が発生するので注意してください。 ○ 大樺沢は雪崩の巣で危険です。八本歯から北岳山荘へのトラバースルートは、雪崩の危険があるため立ち入らないでください。 ○ 池山吊り尾根から八本歯のコルに下るルートは登山道が荒れているため注意してください。 ○ 稜線は、西側からの風が強く、山頂からの下りは急な箇所が多く、アイゼン歩行でのつまづきに注意してください。 ○ 夜叉神の森登山口までは車両通行可能ですが、積雪や凍結などにより通行止めとなる場合があります。夜叉神の森から広河原までの県営林道南アルプス線は、冬期間閉鎖により通行止めです。 ○ 山梨県登山の安全の確保に関する条例により、12月1日から翌年3月31日の間に指定された区域に立ち入る際は、登山計画書の提出が義務化されています。 <p>(山梨の登山・山岳情報ポータルhttps://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/tozan_sangakujouhou.html)</p> <p>● 令和6年1月、2名でバットレスでのクライミング目的のため入山し、八本歯のコルでテントを張った後、行方不明となり、同年7月に大樺沢内の雪渓から発見(2名死亡)された事案が発生しています。(山梨県情報)</p>

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
73	山梨県 長野県	かいこまがたけ 甲斐駒ヶ岳	2,967	<ul style="list-style-type: none"> ○ 厳冬期は、5合目以上の鎖場やハシゴ場で路面が凍結するため、スリップ等による転落や滑落に注意してください。 ○ 8合目鳥居から上の鎖場は、雪に埋もれているのでルートファインディングに注意し、六方石への稜線の下りは、岩場であるので注意してください。また、9合目から頂上に至る間は、突風対策を万全にしてください。 ○ 1月から2月は、夜間の気温が氷点下25度くらいまで下がります。厳しい寒さに耐える装備と行動不能を考慮した予備食料の携行が不可欠です。 ○ 登山口へのアクセスは、尾白川林道は日向山入口以降は通行止めです。大武川林道は起点から通行止めです。精進ヶ滝林道は12月10日以降通行止めです。(山梨県情報) ○ 七丈小屋から山頂までの間は、積雪の状況により、冬道となるため、ルートを確認し、夏道に入らないように注意してください。(山梨県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ○ 山梨県登山の安全の確保に関する条例により、12月1日から翌年3月31日の間に指定された区域に立ち入る際は、登山計画書の提出が義務化されています。 <p>(山梨の登山・山岳情報ポータルhttps://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/tozan_sangakujouhou.html)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年3月、七丈小屋と8合目の間の登山道上においてグループで雪崩に巻き込まれ、3人が重傷を負う事案が発生しています。(山梨県情報) ● 令和6年12月、2名でアイスクラミング中、1名が転倒して足首を負傷する事案が発生しています。(山梨県情報)
74	山梨県 長野県	せんじょうがたけ 仙丈ヶ岳	3,033	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪は、登山道、樹林帯で0.5~2mくらいとなり、沢筋では3~4mになりますので雪崩に注意してください。(長野県情報) ○ 柏木登山口からは、林道と交差するため、登り下りともに迷い込まないように注意が必要です。行程が長く、ラッセルとなると時間・体力を非常に要します。(長野県情報) ○ 小仙丈への上りは、急な雪壁でピッケル、アイゼン技術を要します。また、小仙丈から頂上への岩稜部分は、アイゼンを引っかけないよう慎重に下ってください。 ○ 南アルプス林道は、夜叉神の森まで常時通行可能ですが、積雪や凍結などにより通行止めとなる場合があります。夜叉神の森から広河原までの県営林道南アルプス線や奈良田開運トンネルから広河原までの県道南アルプス公園線は冬期間閉鎖により通行止めです。(山梨県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ○ 山梨県登山の安全の確保に関する条例により、12月1日から翌年3月31日の間に指定された区域に立ち入る際は、登山計画書の提出が義務化されています。 <p>(山梨の登山・山岳情報ポータルhttps://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/tozan_sangakujouhou.html)</p>
75	山梨県 長野県	きんぶさん 金峰山	2,599	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪は、登山道、樹林帯で1~2mくらい、沢筋では3m以上となります。積雪により登山道が判然とせず、ルートを外れる道迷いに注意してください。 ○ 稜線は、突風による転倒、大日岩付近や山頂の五丈岩付近ではアイスバーンによる転倒、滑落に注意してください。 ○ アクセス道路の林道は、瑞牆山荘まで通行可能ですが、滑り止めを準備することが必要です。(山梨県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
76	山梨県 長野県	やつがたけ 八ヶ岳	2,899	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハケ岳は、アプローチが短い割に、北アルプス並みの寒気と雪を経験できるため、冬期間でも登山者が多く、遭難も多発しています。 ○ 赤岳を中心とした急峻な岩場での滑落事故のほか、積雪のため、登山道が分からず道に迷ったり、強風と氷点下の低温などにより凍死や凍傷となる遭難、表層雪崩など気象条件に影響を受ける遭難も少なくありません。常に最新の気象情報を基に行動し、状況によっては「引き返す勇気」が必要です。(長野県情報) ○ 各峰の7合目以上の稜線は、突風やアイスバーンによる転落・滑落に注意してください。(山梨県情報) ○ 県界尾根や真教寺尾根とも、山頂近くの鎖場は、積雪により鎖が凍結し隠れています。また、鎖場上部は、雪庇ができるので踏み抜きによる転・滑落に注意してください。(山梨県情報) ○ 権現岳から赤岳に向かう稜線における、雪庇の踏み抜きにも注意してください。(山梨県情報) ○ 八ヶ岳横断道は通行可能で、川俣林道は全面通行止め、観音平久保線、天女山公園線は11月25日頃から通行止めの予定です。(山梨県情報) ○ 天狗岳周辺における道迷い遭難が多発しています。(長野県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ○ 近年、阿弥陀岳南稜で滑落等により死亡する事案が多発しています。 ○ 山梨県登山の安全の確保に関する条例により、12月1日から翌年3月31日の間に指定された区域に立ち入る際は、登山計画書の提出が義務化されています。 <p>(山梨の登山・山岳情報ポータルhttps://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/tozan_sangakujouhou.html)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年1月、東天狗頂上付近で下山中の登山者が吹雪と疲労により、1人が死亡、2人が手足の凍傷となる事案が発生しています。(長野県情報) ● 令和5年1月、単独で赤岳山頂から大門沢をスキーで滑走したところ、雪崩を誘発し、行動不能となつたため救助される事案が発生しています。(山梨県情報) ● 令和6年1月、2人パーティで赤岳山頂から下山中、同行者とはぐれて行動し、1人が死亡する事案が発生しています。(長野県情報)
77	山梨県 静岡県	ふじさん 富士山	3,776	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の富士山は気象条件が厳しく、氷点下30度の気温、風速30mの強風も希ではありません。単独峰のため、突風による滑落が多く、厳冬期の8合目以上ではアイゼンが効かないことがあります。毎年アイスバーンでの滑落事故が発生しており、ピッケルやアイゼンなどの冬山装備を使い、確実な滑落停止や耐風姿勢等の高度な登山技術が必要です。また、突風でテントが飛ばされ、2人が死亡することもあります。 ○ スキーやスノーボードでの滑降は急傾斜面が多く、露出した岩場も多く見受けられることから、大変危険です。毎年、転倒により生命にかかる大きな事故が発生しています。 ○ 平成25年に「富士山における安全確保のためのガイドライン」が策定されました。夏山期間以外に富士山へ登山する場合は次の3つのルールを必ず守ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1 万全な準備をしない登山者の登山禁止(冬の富士山は救護所・山小屋が閉鎖され避難場所が無く、携帯電話が通じにくいため救助要請ができない場合があります。道標も撤去されますのでコンパス等による読図の技術が必要です。例年、道迷いによる遭難が発生しています。万全な準備とは、装備だけに限らず、時期に応じた経験や登山スキルを持つことも含まれます。経験やスキルが無い場合は、登山ガイドや経験者を同行してください。) 2 「登山計画書」を必ず作成・提出(遭難した時に少しでも早く救出されるため、行程、装備、緊急連絡先を記載した登山計画書を必ず作成して家族に渡すとともに提出してください。) 3 携帯トイレの持参(山小屋や公衆トイレは夏山期間以外は閉鎖されています。自然環境保全のため携帯トイレを持参し、必ず持ち帰ってください。) ○ アクセス道路の「富士山スカイラインから富士宮5合目に至る区間」及び「御殿場口登山区間」並びに「須走口のあざみライン馬返しから須走口5合目まで」は、積雪する11月中旬から翌年4月下旬まで通行止めとなります。通行止め期間は、気象条件等により変更となる場合があります。(静岡県情報) ○ 山梨県側の5合目までは、富士スバルラインが午前9時から午後5時まで通行可能(上りゲートは午後4時閉鎖)ですが、降雪や凍結により全面又は一部が通行止めとなります。また、滝沢林道は12月上旬から翌年4月下旬まで冬期間閉鎖となります。(山梨県情報) ○ 吉田大沢は、落石や雪崩等の危険が大きいため、立ち入らないでください。(山梨県情報) ○ 宝永第一火口内は、上部からの崩壊があり、落石を受ける可能性が高いので、火口付近を通行する場合は十分注意してください。 ○ ここ数年、山梨県側から登り須走口に迷い込む遭難者が多く見られます。積雪期は登ったルートを下山してください。 ○ 富士山は活火山です。火山情報には十分注意してください。 ○ 山梨県登山の安全の確保に関する条例により、12月1日から翌年3月31日の間に指定された区域に立ち入る際は、登山計画書の提出が義務化されています。 <p>(山梨の登山・山岳情報ポータルhttps://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/tozan_sangakujouhou.html)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年5月、滑落による山岳遭難が4件4人(重傷3人、軽傷1人)が発生しています。(静岡県情報) ● 令和3年12月、滑落による山岳遭難が1件2人(重傷2人)が発生しています。(静岡県情報) ● 令和4年1月、滑落2件2人(死亡1人、重傷1人)、行方不明1件1人(令和4年10月遺体で発見)の山岳遭難が発生しています。(静岡県情報) ● 令和4年12月、滑落による山岳遭難が1件1人(死亡)が発生しています。(静岡県情報) ● 令和5年3月、滑落による山岳遭難が1件2人(死亡、重傷)が発生しています。(静岡県情報) ● 令和5年12月、単独で登山中、行方不明となり、翌年7月、火口内で発見される事案が発生しています。(山梨県情報) ● 令和6年1月、天候不良により下山中、足を滑らせ滑落(重傷)する事案が発生しています。(山梨県情報) ● 令和7年1月、山頂からの滑落による山岳遭難が1件1人(重傷)が発生しています。(静岡県情報)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
78	山梨県 静岡県	あいのだけ 間ノ岳	3,190	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのルートもアプローチに長い日数を必要としますので、十分な準備と強靭な体力が必要です。 ○ 白根三山の真ん中に位置する広大な山で、麓からの直接ルートはありません。頂上部は広くなだらかですが、特徴がないだけに吹雪やガスが出ているときは、ルートを見失し易いことから、コンパスやGPSにより方角をしっかりと確認する技術が必要です。 ○ 北岳から農鳥岳への南下ルート、三峰岳から塩見岳方面へのルートの分岐であり、また北岳からのピストンとして登る計画が多く見られます。山が大きく見え、近いような錯覚を起こしますが思った以上に時間のかかるコースです。 ○ 梁線では、突風による転倒や転落、滑落などに十分注意する必要があります。また、厳寒期には1~2mの積雪となり、梁線上はアイスバーンとなりますので、アイゼン、ピッケル技術が必要とされる熟達者の山であるとともに、緊急事態には北岳や農鳥岳を経由して下山しなければならず、強靭な体力や旺盛な気力が必要とされます。 ○ 山梨県登山の安全の確保に関する条例により、12月1日から翌年3月31日の間に指定された区域に立ち入る際は、登山計画書の提出が義務化されています。 (山梨の登山・山岳情報ポータルhttps://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/tozan_sangakujouhou.html)
79	長野県	うつぎだけ 空木岳	2,864	<ul style="list-style-type: none"> ○ 池山尾根には、「大地獄」「小地獄」といった難所があり、積雪期はルートが不明瞭で遭難も多く発生しています。山頂方向から下山していくと、この付近で急傾斜になり、尾根も次第に細くなっています。ザイルやピッケルなどの装備を十分に使いこなして、慎重に行動しましょう。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
80	長野県	きそこまがたけ 木曽駒ヶ岳	2,956	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駒ヶ根市側に架けられた中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイを利用すれば、一気に標高2,612mの千畳敷に至りますが千畳敷カールは雪崩の危険性が高いため、千畳敷カールの外側を経て、中岳の頂上から駒ヶ岳に向かうコースが一般的です。 ○ 稜線付近は氷結した斜面の通過が連続するため、アイゼン・ピッケルをしっかりと使いこなして安全に通過できる技量が必要です。 ○ 中央アルプスの稜線上の岩肌には、通称「エビの尻尾」と呼ばれる雪の造形が見られるとおり、風雪が激しいところです。このため、風雪に対する防寒対策をしっかりと行い、低体温症や凍傷などにならないよう注意が必要です。 ○ 千畳敷カール一帯は、雪崩発生の危険性が高く、新雪の降ったときや気温の上昇時には登山自粛の判断も必要となります。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ○ 中岳木曽側の巻き道は、雪面がクラストしており、滑落する危険性が高いので、通行しないでください。 ○ 宝剣岳の木曽側で近年、滑落により死亡する遭難が多発しています。 ● 令和3年3月に、千畳敷カール内を登山していたグループが雪崩に巻き込まれ、1人が負傷しています。 ● 令和6年3月に、単独で木曽駒ヶ岳に入山し行方不明となり、同年4月に遺体で発見されています。
81	長野県	じょうねんだけ 常念岳	2,857	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬山では合戦尾根から燕岳に至り、稜線を縦走して大天井岳から常念岳に向かうコースと、上高地から長嶺尾根を登って蝶ヶ岳に至り、稜線沿いに常念岳に向かうコースが一般的です。(沢沿いの道は、雪崩の危険性が高いため通行できません。) ○ 積雪は、穂高連峰に劣らず、2~3mに達するので、新雪のときは長時間のラッセルが必要となります。必ずパーティを組んで登山しましょう。 ○ 東尾根は、体力的にも厳しいルートで森林限界を抜けると強風にさらされます。標高が上がると岩場もあり、アイゼン歩行に注意が必要です。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
82	長野県	たてしなやま 蓼科山	2,531	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬期間は、ゴンドラ、リフトを利用して、蓼科牧場の下端から御泉水自然園まで登る人がいる程度で、山頂を目指す登山者は少ないですが、登山をする場合は、道迷いや防寒対策も考慮した冬山装備が必要です。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。 (長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
83	長野県	うつくしがはら 美ヶ原	2,034	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬期間は車道が閉鎖されていますので、登山者はほとんどいません。
84	長野県	きりがみね 霧ヶ峰	1,925	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美ヶ原の南東約14kmに位置する火山台地で、北方に鷲ヶ峰(1,798m)、南方に車山(1,925m)といったピークがあります。 ○ 冬期間は、雪原のスノーシューイング登山者が散見されますが、視界が悪い時は、方向を見失わないように注意が必要です。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
85	長野県 静岡県	ひじりだけ 聖岳	3,013	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聖沢登山口から出会い所小屋までの間、登山道が崩落している箇所があり、迂回が必要な場所があります。 ○ 南アルプス南部は、登山者が少ないので、単独ではアクシデントに対応できません。特に、冬山の場合、悪天候に阻まれ、幾日も行動不能となることが多いので、無理な計画は立てず、余裕のある日程が必要です。 ○ 聖岳山頂付近は、南面、北面とも滑落事故の発生が非常に多いので注意してください。 ○ 冬ルートの東尾根は、登山者が少なく、ルートが不明瞭で迷いややすいため、ルートファインディングに注意してください。(静岡県情報) ○ 聖沢ルートは積雪すると樹木がかぶさり、登山道を塞ぐため分かりにくく、特に下りでは注意が必要です。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ● 平成22年1月には強風で行動不能となり1人が死亡、2人が凍傷で救助されました。(突風のため救助に3日を要しています。)(静岡県情報) ● 平成30年1月、単独登山者が行方不明となる山岳遭難が発生しています。(同年夏期に遺体で発見)(静岡県情報) ● 令和3年2月、単独縦走中の登山者が予想以上の積雪により聖平小屋付近で行動不能となった山岳遭難が発生しています。(静岡県情報) ● 令和6年5月、聖岳～兎岳間において滑落により1人が死亡する山岳遭難が発生しています。(静岡県情報) ● 令和7年3月、東尾根において約400mの滑落により1人が重傷となる山岳遭難が発生しています。(静岡県情報)
86	長野県 静岡県	てかりだけ 光岳	2,592	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本谷口から易老渡、さらに易老渡を経て光岳まで、無雪期でもおよそ8時間の行程となります。 ○ 本谷口から易老渡までは車両通行止めとなっています。 ○ 各ルートともアプローチが長いので余裕を持った計画が必要です。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
87	長野県 静岡県	しおみだけ 塩見岳	3,047	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長野県、静岡県の県境に位置し、アプローチに長時間を要することから、年末年始に登山者が目立つのみで、冬山期間全体でも登山者はわずかです。 ○ 長野県大鹿村の塩川登山口又は鳥倉林道から三伏峠に至るのが冬山コースとして利用されています。 ○ 天狗岩から塩見岳の間は、アイスバーンとなり易く、滑落事故に対する注意が必要です。 ○ 蝙蝠岳山頂部は広くなだらかで特徴がなく、吹雪やガスが出ているときは、ルートを見失い易いことから、コンパスやGPSにより方角をしっかり確認する技術が必要です。(静岡県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
88	静岡県	わるさわだけ 悪沢岳	3,141	<ul style="list-style-type: none"> ○ 千枚岳西側のガレ場及び悪沢岳の西側は、アイスバーンとなりやすく滑落事故に対する注意が必要です。 ● 令和5年5月、複数人で登山中、悪沢岳～中岳間のコル付近で約300m滑落した事案が発生しています。
89	長野県 静岡県	あかいしだけ 赤石岳	3,121	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪の程度や天候によっては、ルート途中での予想外の幕営が必要となりますので、装備や食糧は不足のないよう準備して登山しましょう。また、荒天時に備えて、非常食も必ず携行しましょう。 ○ 夏道の砲台休憩所付近は雪崩の危険が高いため通行できません。冬ルートの「ラクダの背」は、ヤセ尾根で上り下りが厳しく、ザイル操作が必要です。また、小赤石岳頂上直下のラクダの背ルート入り口が崩壊しており、下降が一部困難となっています。 ○ 赤石岳、小赤石岳付近の静岡県側では、例年大きな雪庇が張出しますので、稜線を歩く際は、踏み抜きに注意が必要です。 ○ 南アルプス南部の山小屋は、全て閉鎖されています。避難小屋として利用する計画のある方は、事前に山小屋管理者に連絡し開放状況を確認してください。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ● 平成30年5月、単独登山者が小赤石岳山頂での目撃を最後に行方不明となる事案が発生しています。(静岡県情報) ● 令和2年12月末、単独登山者が「道に迷った」旨の通報後、行方不明となる事案が発生し、令和3年5月に遺体で発見されました。(静岡県情報) ● 令和7年2月、山頂にて両手十指が全て凍傷(重傷)となる山岳遭難が発生しています。(静岡県情報)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
90	長野県 富山県	ごりゅうだけ 五竜岳	2,814	<ul style="list-style-type: none"> ○ 五竜岳へのアプローチには、遠見尾根が使われますが、積雪が3~4m以上となります。また、五竜岳を含む後立山連峰は、冬型の気圧配置の場合、吹雪が数日間続くことがあります。吹雪の中を行動し低体温症となったり、大雪のため下山ができず疲労や凍傷等で行動不能となるケースがあります。適切な天候判断により、慎重な行動をしてください。 特に、五竜岳山頂は、ホワイアウトになったとき、富山県側に迷い込むケースが多いので注意が必要です。なお、富山県側からの一般ルートはありません。(長野県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ● 平成27年1月、小遠見山付近からバックカントリー中の3人パーティが雪崩に巻き込まれ全員が死亡しています。
91	長野県 富山県	かしまやりがたけ 鹿島槍ヶ岳	2,889	<ul style="list-style-type: none"> ○ 爺ヶ岳東尾根から冷池山荘を経由して、稜線伝いに山頂に至る冬季ルート、赤岩尾根の高千穂平をベースに山頂を目指すルートのほか、天狗尾根、鹿島東尾根からの岩(雪)壁登はんと鹿島槍北峰に登るルートは、いずれも上級者向きのコースで、岩登りと積雪登はんの経験がなければ、困難なルートです。 なお、富山県側からの一般ルートはありません。(長野県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ● 過去、大勢の登山者が遭難しています。 昭和49年3月に2件(死亡8人)、昭和52年1月に3件(死亡11人)など大量遭難の記録が多く、その原因は雪崩や悪天候などによるものです。平成11年1月には赤岩尾根付近を下降していた大学生2人が死亡。平成14年は4件(死亡2人、負傷2人)の遭難、平成15年には単独登山者が行方不明となり春になって遺体が発見される遭難が発生しています。この山域の冬季登山は確実な気象判断や高度な雪上技術が求められます。(長野県情報)
92	長野県 富山県	わしばだけ 鷲羽岳	2,924	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富山県、長野県、岐阜県のいずれからも長大なアプローチとなります。アプローチが非常に困難であるため、一般的には冬山登山の対象にはなっていません。(富山県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
93	長野県 岐阜県	やけだけ 焼岳	2,455	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活火山であり火山活動に注意する必要があります。(岐阜県情報) ○ 各ルートは、視界不良や積雪により迷いやすいため、十分に注意してください。(長野県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。 (長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ○ 火口域から2km以内の岐阜県側の地域に登山する場合は、岐阜県山岳遭難防止条例により登山届の提出が義務化されています。 (岐阜県山岳遭難防止条例 https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/bosai/sangaku/11115/jourei.html)
94	長野県 岐阜県	のりくらだけ 乗鞍岳	3,026	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北アルプスの最南端に位置する成層火山で、積雪期は、山スキーヤーが多く登山されていますが、所々アイスバーンとなっている所があり注意が必要なほか、沢筋に迷い込み転落・転倒し、死亡・負傷する事故が発生しています。 ○ 長野県側の「乗鞍エコーライン」は冬期間閉鎖されます。 ○ 山岳地帯は、降雪量が多く、雪崩の危険がありますので注意が必要です。 ○ 活火山であり火山活動に注意する必要があります。 ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。 (長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ○ 岐阜県側の「乗鞍スカイライン」は冬期間閉鎖されています。 ○ 火口域から4km以内の岐阜県側の地域(畠平等を除く)に登山する場合は、岐阜県山岳遭難防止条例により登山届の提出が義務化されています。 (岐阜県山岳遭難防止条例https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/bosai/sangaku/11115/jourei.html) ○ 位ヶ原をはじめ乗鞍岳一帯は、視界不良時にルートを見失い、沢筋に迷い込むことがあります。悪天候時の行動は要注意です。 ● 令和3年3月に、登山グループが雪崩に巻き込まれ、2人が負傷し、1人が死亡する事案が発生しています。(長野県情報)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
95	長野県 岐阜県	おんたけさん 御嶽山	3,067	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火山活動のため、気象庁が発表する「噴火警戒レベル」に応じた規制が行われます。最新の情報を確認してください。 ○ 火口域から4km以内の岐阜県側の地域に登山する場合は、岐阜県山岳遭難防止条例により登山届の提出が義務化されています。 (岐阜県山岳遭難防止条例https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/bosai/sangaku/11115/jourei.html) ○ 9合目の五の池小屋は、冬期閉業中です。(岐阜県情報) ○ 下呂市では二ノ池ヒュッテから先、山頂方面を立入禁止としています。規制区域内に無断で立ち入った場合は法律により罰せられますので、絶対に立ち入らないでください。(岐阜県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
96	長野県 岐阜県	えなさん 恵那山	2,191	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岐阜県側からは、前宮ルートがありますが、長時間を要し、積雪時はルートを見失い、道に迷う危険性があります。(岐阜県情報) ○ 岐阜県側の黒井沢登山口に至る林道は、通行止めが続いている。(岐阜県情報) ○ 長野県側からは、神坂峠、鳥越峠を経由するルートと、阿智村からの「広河原ルート」がありますが、いずれも長時間を要し、積雪時はルートを見失い、道に迷う危険性があります。(長野県情報) ○ 例年12月頃から翌年5月上旬頃までは積雪があり、完全な冬山装備が必要となります。吹き溜まりも所々にあり通常の倍以上の行動時間を必要とします。(岐阜県情報) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)
97	長野県 岐阜県	やりがたけ 槍ヶ岳	3,180	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新穂高から飛驒乗越に至る右俣谷ルートは雪崩の危険性があり、注意が必要です。特に、チビ谷、滝谷、南沢をトラバースする際は注意が必要です。(岐阜県情報) ○ 長野県側から冬期間に槍ヶ岳に登山するには、北鎌尾根、東鎌尾根、横尾尾根、硫黄尾根がルートに使われていますが、いずれの尾根も、やせた尾根の積雪歩行であり、十分な装備、日程を必要とし、高度な登山技術と判断力も要求されます。槍沢は、雪崩の危険性が高いので、立ち入らないでください。(長野県情報) ○ 岐阜県山岳遭難防止条例により、指定区域へ登山する場合は登山届の提出が義務化されています。(岐阜県山岳遭難防止条例 https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/bosai/sangaku/11115/jourei.html) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html) ● 槍平小屋付近では、度々雪崩が発生し、過去には、槍平小屋付近でテント泊中の越年登山者のグループが雪崩に巻き込まれ、4人が亡くなる遭難が発生しています。テントを張る位置には最大の注意が必要です。(岐阜県情報)
98	長野県 岐阜県	ほたかれんぼう 穂高連峰		<ul style="list-style-type: none"> ○ 穂高連峰は、奥穂高岳(3,190m)、北穂高岳(3,106m)、前穂高岳(3,090m)、西穂高岳(2,909m)、涸沢岳(3,110m)に大別され、最も標高の高い奥穂高岳は、富士山(3,776m)、北岳(3,192m)に次いで、日本第3位の標高です。 夏山のように、涸沢カールからザイティングラードを登るコースは雪崩の危険があるため立ち入らないでください。(長野県情報) ○ 前穂高岳へは、上高地から徳沢を経て、北尾根からのルートと、明神岳を経由して登頂するルートがありますが、どちらも急峻な尾根の岩稜であり、豊富な雪上経験と高度な冬山技術が要求されます。(長野県情報) ○ 西穂高独標から奥穂高方面へのルートは日本屈指の難ルートで、転落遭難が多発しており、特に西穂高岳一帯の稜線は、岐阜側から長野側へ雪庇が張り出すところがあり、この雪庇の踏み抜きによる転落に注意が必要です。(長野県情報) ○ 滝谷一帯は落石や雪崩が多く非常に危険で、岐阜県山岳遭難防止対策協議会では、同所を危険地帯に指定しています。過去にも多数の遭難が発生しています。(岐阜県情報) ○ 奥穂高岳(涸沢岳)の冬期ルートは、涸沢岳西尾根のルートが代表的であり、蒲田富士から涸沢岳間において雪庇の踏み抜きや滑落等による遭難が多く発生しています。(岐阜県情報) ○ 穂高岳のなかでも冬山登山者が多いのは、西穂高岳です。 冬山経験の浅い登山者は、山荘と西穂独標の間にある丸山までとし、独標手前から先の西穂高岳は上級者向けのルートで、ザイルワーク、雪庇の見極め、雪上を確実にアイゼン歩行できる技術等が必要です。天候が悪くなるとホワイトアウトになり、西側の支稜線にルートを外し滑落や行動不能となる遭難が発生しています。(岐阜県情報) ○ 岐阜県山岳遭難防止条例により、指定区域へ登山する場合は登山届の提出が義務化されています。(岐阜県山岳遭難防止条例 https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/bosai/sangaku/11115/jourei.html) ○ 長野県登山安全条例により指定登山道を通行する場合は、登山計画書の提出が義務化されています。(長野県登山安全条例https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/tozanjorei/tozanjorei.html)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
99	静岡県	あまぎさん 天城山	1,405	<ul style="list-style-type: none"> ○ 温暖な伊豆の山ですが、厳冬期には0.5~1mの積雪になることもあります。軽アイゼンなど冬山装備も携行してください。 ○ 天城山系では、道迷い遭難が多く、特にシャクナゲコースでの道迷いが多発しています。降雪後はルートが追えない場合があります。地図やGPSアプリを活用するとともに、登山道以外の場所には立ち入らないように気を付けて下さい。 ● 令和5年中、5件7人の道迷い遭難が発生しています。 ● 令和6年中、9件13人の道迷い遭難が発生しています。 ● 令和7年11月中旬までに、6件9人の道迷い遭難が発生しています。
100	富山県	つるぎだけ 剣岳	2,999	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富山県登山届出条例により、12月1日から翌年5月15日までの間、登山の20日前までに登山届を提出する義務があります。 所定の様式により、下記へ提出してください。 〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 富山県自然保護課(電話076-431-4111) なお、スマートフォン等のオンラインで登山届を提出するシステム「コンパス」にも対応しています。 ○ 冬の剣岳周辺の登山には、高度な体力、技術、経験等が必要です。これらを高いレベルで備えていなければ決して登ることはできません。安易な計画による入山は遭難に直結することを理解してください。 ○ 経験豊富なリーダーのもと、パーティーを組んで入山してください。天候や積雪状態等を事前に確認するとともに、万一に備えて周到に準備することが重要です。 ○ 冬の剣岳周辺は日本海側からの季節風の影響をまとめて受けける豪雪地帯です。ひと晩で1mを超す降雪も珍らしくありません。吹雪で行動できないことが数日間続くこともあるので、条例では孤立した場合に備え、一週間以上の予備日の設定を求めています。 ○ 冬の剣岳登山の主な登山口は馬場島です。公共交通機関はタクシーですが、途中の伊折から馬場島までの約8kmは徒歩になります。 ○ 馬場島から標高2,200mの早月小屋まではラッセルが深く、小屋から上部は急峻な雪稜の連続です。ロープで確保しながらアイゼン、ピッケルを駆使しての行動になります。 ○ 長野県側からの入山は後立山連峰を越えなければならず、途中の黒部峡谷や剣沢では雪崩が頻発します。剣岳に至る各尾根はいずれも急峻かつ長大なルートで、一度尾根に取り付けばエスケープすることは困難です。 ● 平成24年の年末始年に、剣岳小窓尾根に向かった4人パーティーが行方不明となり、雪解け後に遺体で発見されています。 ● 平成30年の年末に、剣岳北方稜線からの登頂を目指した2人パーティーが凍傷で行動不能となりました。悪天候で救助は難航し、救助要請から6日後に救助されました。 ● 令和元年の年末、悪天候の中早月尾根を下降していた3人パーティーが支尾根に迷い込み、間違いに気付いて登り返している途中で滑落し、1人が行方不明となりました。遺体は翌年の10月に雪解けした雪渓の割れ目から発見されました。
101	富山県	立山 おおなんじやま (大汝山)	3,015	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通機関が休止しており長大かつ広大な地形のアプローチとなります。このため冬山登山の対象としてほとんど登られていません。冬型の気圧配置が続き、吹雪で数日間行動できなくなることも想定してください。豪雪による行動不能、ホワイトアウトによる道迷い、雪崩、低体温症等には厳重な警戒が必要です。携帯電話での通信通話ができない場所があります。
102	富山県	やくしだけ 薬師岳	2,926	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有峰林道が冬期間閉鎖しており長大なアプローチとなります。このため冬山登山の対象としてほとんど登られていません。冬型の気圧配置が続き、吹雪で数日間行動できなくなることも想定してください。豪雪による行動不能、ホワイトアウトによる道迷い、雪崩、低体温症等には厳重な警戒が必要です。携帯電話での通信通話ができない場所があります。
103	富山県	すいしおだけ 水晶岳 (黒岳)	2,986	<ul style="list-style-type: none"> ○ 富山県、長野県、岐阜県のいずれからも長大なアプローチとなります。アプローチが非常に困難であるため、一般的には冬山登山の対象にはなっていません。
104	富山県 岐阜県	くろべごろうだけ 黒部五郎岳	2,840	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高山市奥飛驒温泉郷神坂(新穂高)や飛驒市神岡町打保から向かう場合、行程が長くなり、積雪の多い地域であり疲労等からの行動不能に注意が必要です。また、比較的のたらかな三俣蓮華付近は、ガス等により方向を見失いやすいので注意が必要です。(岐阜県情報) ○ 有峰林道が冬期間閉鎖しており長大なアプローチとなります。このため冬山登山の対象としてほとんど登られていません。冬型の気圧配置が続き、吹雪で数日間行動できなくなることも想定してください。豪雪による行動不能、ホワイトアウトによる道迷い、雪崩、低体温症等には厳重な警戒が必要です。携帯電話での通信通話ができない場所があります。(富山県情報)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
105	富山県 岐阜県	てらちやま 寺地山	1,996	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飛驒市神岡町打保から北ノ俣岳を目指す際の稜線上にあり、過去に一晩で1mを超える積雪が記録されるなど、積雪の多い地域であり行動不能に注意が必要です。(岐阜県情報) ○ 有峰林道が冬期間閉鎖しており長大なアプローチとなります。このため冬山登山の対象としてほとんど登られていません。冬型の気圧配置が続き、吹雪で数日間行動できなくなることも想定してください。豪雪による行動不能、ホワイトアウトによる道迷い、雪崩、低体温症等には厳重な警戒が必要です。携帯電話での通信通話ができない場所があります。(富山県情報)
106	石川県 岐阜県	はくさん 白山	2,702	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火口域より4km以内の地域に登山する場合は、石川県及び岐阜県の条例により登山届の提出が義務化されております。 (石川県白山遭難防止条例 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/bousai_g/hakusan_kazan/jorei.html) (岐阜県山岳遭難防止条例 https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/bosai/sangaku/11115/jourei.html) ○ 白山顶上に通じる登山ルートは、どのルートも冬期間は山中泊を必要とする長距離であるため、十分な装備が必要です。 ○ 例年11月中旬ころには、白山顶上付近の「室堂」、「弥陀ヶ原」一帯には積雪があります。多いところは1mを越えますので、ピッケル、アイゼン等冬山装備を確実に携行してください。 ○ 本格的な積雪期に入ると、「砂防新道」ルートにおける別当出合吊り橋が撤去され通行できなくなります。(石川県情報) ○ 頂上付近は、例年風雪がひどく、また、弥陀ヶ原は広いので道に迷う危険性が高くなります。気象情報によく注意することが重要です。天候の急変に注意してください。また、白山は日本海に近いことから冬期間は荒天の日が多く、登山日数が予定よりも長くなる場合があることから、十分な予備装備・予備日等が必要です。 ○ 白山室堂の営業期間(例年5月1日から10月15日ころ)以外は、室堂の「白山荘」が避難小屋として開放されていますので、登山される際は、その位置を地図などで事前に確認してください。 ○ 山岳道路「白山白川郷ホワイトロード」は、本年も11月中旬から翌年6月上旬までの間、閉鎖となり、人の通行・車両の乗り入れはできません。 ○ 平瀬道登山口に通じる岐阜県道451号白山公園線は、閉鎖中で人の通行・車両の乗り入れはできません。(岐阜県情報) ○ 別当出合登山口に通じる、石川県道33号白山公園線及び岩間道・楽々新道登山口に通じる岩間一里野線が、例年11月中旬より冬期間通行止めとなり、人の通行、車両の乗り入れはできません。(石川県情報) ○ 山岳地帯は降雪量が多く、崩落及び雪崩の危険性があるので登山には十分注意が必要です。 ○ 出発前に必ず登山口までの道路状況や山小屋等の施設状況に関する情報を確認してください。 ○ 活火山であり火山活動に注意する必要があります。
107	福井県	あらしまだけ 荒島岳	1,523	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例年11月初旬に初雪が降り、12月中旬頃から根雪となります。積雪は多いところで2~3m以上、山頂付近は3~4mになります。近年、上級者向けの新下山コースが新設され、登山コースは4コース(勝原、佐開、中出、下山)になりましたが、積雪のある冬期間は、4コースとも、駐車場の除雪は行っていません。 ○ 3コース(勝原、佐開、中出)が合流する8合目付近(しゃくなげ平)からは、勾配が急でヤセ尾根が続く登山道となりますので十分な注意が必要です。 ● 山頂付近では、天候の急変、風雪等の悪天候により、コースを見失いややすく、滑落等の事故が発生していますので注意してください。 ● 平成26年、新下山コースからのバックカントリースキー中に、雪崩に巻き込まれる事故が発生しています。新下山コースは、急勾配で落雪等の危険がありますので、同コースからの登山は控えてください。
108	福井県	おおちょうさん 大長山	1,671	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例年11月初旬に初雪が降り、12月中旬ころから根雪となり、山頂付近の積雪は、3~4m以上となります。小原集落からの登山口ゲートは例年11月中旬から翌年6月頃まで閉鎖となります。 ○ 一般的なルートとして知られる、取立山~大長山~赤兎山の登山ルートは急峻な斜面やガレ場も少なく、人気コースの一つですが、降雪期においては、十分な登山計画の策定、装備品の準備、気象情報の確認を行ってください。 ● 過去に、気象状況の悪い中、大学生パーティーが山頂付近の急斜面で孤立するという事故が発生していますので注意してください。
109	岐阜県	かさがたけ 笠ヶ岳	2,897	<ul style="list-style-type: none"> ○ 笠ヶ岳から弓折岳までの稜線上は雪庇が連続発生するので注意が必要です。 ○ 行程が長く、十分な体力が必要です。また、冬はほとんど登山者はいません。 ● 左俣谷は笠ヶ岳から弓折岳にかけての稜線から規模の大きい雪崩が度々発生し、過去には死亡事故も発生しています。 ○ 岐阜県山岳遭難防止対策協議会は、穴毛谷地域一帯を、積雪期における危険地域に指定しています。 ○ 岐阜県山岳遭難防止条例により、指定区域へ登山する場合は登山届の提出が義務化されています。(岐阜県山岳遭難防止条例 https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/bosai/sangaku/11115/jourei.html)

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
110	岐阜県 滋賀県	いぶきやま 伊吹山	1,377	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「伊吹山ドライブウェイ」の入り口は岐阜県側にあり、例年、同道路は、11月下旬頃から翌年の4月中旬頃までの間、積雪のため全線通行止めとなります。(岐阜県情報) ○ 登山道崩落のため、麓からの伊吹山登山は御遠慮ください。最新情報や熊に関する情報等は米原市ホームページを確認してください。 ○ 滋賀県警察では、インターネットによる登山届も受理しています。
111	京都府	あたごやま 愛宕山 だいもんじやま 大文字山	924 465	<ul style="list-style-type: none"> ○ 愛宕山は、京都市街地からも近く、山道も整備され、山頂には火伏せ・防火の神社として知られる愛宕神社が所在することから、参拝目的の登山者が多く訪れます、山道を外れて道に迷い遭難するケースが発生しています。 ○ 京都四大行事の一つ、「五山の送り火」で有名な大文字山は、京都市街地からの簡便なアクセスや、登山口周辺に著名な「銀閣寺」、「哲学の道」などの観光名所が点在すること、さらには小一時間で京都市中心部を一望できる眺望の良い「火床」に至ることが可能なため、非常に多くの入山者がおります。大文字山は標高が低いこともあり、必要な準備をしないまま入山して道に迷い遭難するケースが多発しており、愛宕山と並び、遭難が京都で最も多い山の一つです。 ○ 冬場は日没が早く、麓と山頂の気温差も大きいことから、ハイキングをするような安易な気持ちで登山することなく、必ず事前に登山計画を立てて、準備を万全に行うことが必要です。 ○ 京都府警ホームページからも、登山計画書を提出できますのでご利用ください。 ○ 京都府内においても、これまで目撃がなかった地域でクマの目撃情報が寄せられていますので、山に登る際には情報収集に努めてください。
112	三重県	鈴鹿山系 ふじわらだけ 藤原岳 りゅうがたけ 竜ヶ岳 ごさいしょだけ 御在所岳 かまがだけ 鎌ヶ岳 しゃかがだけ 釈迦ヶ岳 しゃかがだけ 入道ヶ岳 にゅうどうがだけ	1,140 1,099 1,212 1,161 1,092 906	<ul style="list-style-type: none"> ○ 積雪の多い山頂部や登山道における滑落と道迷いが多発しています。いずれも装備不足や下山時間の遅れなどが原因と考えられることから、アイゼンや防寒衣の携行、明るいうちでの早めの下山を心掛けるなど、余裕のある登山計画が必要です。 ○ 御在所岳においてロープウェイを利用される方は、運行時間に注意してください。 ※ 4/1~11/30 ロープウェイ 営業開始9:00 上り線終了17:00 下り線終了17:20 ※ 12/1~3/31 ロープウェイ 営業開始9:00 上り線終了16:00 下り線終了16:30 ※ 12/9~12/23ロープウェイ定期工事のため運休 ※ ロープウェイは、強風などの悪天時に運休する場合があります。
113	三重県 奈良県	おおだいがはら 大台ヶ原 ひでがだけ 日出ヶ岳	1,695	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三重県側では、11月24日午後4時から閉山しています。 閉山期間中は、専門業者による各吊橋の点検作業や各施設の整備作業が予定されています。 ○ 奈良県側では、大台ヶ原ドライブウェイが、例年、冬期通行止めとなる期間があります。 通行止めの区間及び期間については、奈良県のホームページで確認してください。
114	奈良県	おおみねさんけい 大峰山系 さんじょうがたけ 山上ヶ岳 だいあげんだけ 大普賢岳 いもむちがたけ 稻村ヶ岳 みせん 弥山 はつきょうがたけ 八経ヶ岳 しゃかがたけ 釈迦ヶ岳	1,719 1,780 1,726 1,895 1,915 1,800	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大峰山系の山は、2,000m以下の山ばかりとはいえ、例年冬場になると、積雪や凍結が見られ、また、鉄橋や鉄製階段が多いことから、十分な装備と余裕を持った計画での登山を心掛けてください。 ○ 国道309号の天川村北角地内から上北山村西原地内までの間は、例年、冬期通行止めとなる期間があります。 ○ 国道425号の下北山村浦向地内から十津川村大野地内までの間は、例年、冬期通行止めとなる期間があります。 ○ 主要地方道洞川下市線の天川村洞川地内から黒滝村中戸地内までの間は、例年、冬期通行止めとなる期間があります。 ○ 主要地方道大峯山公園線の天川村洞川地内(大峰母公堂から東方の区間)は、例年、冬期通行止めとなる期間があります。 ○ 上記通行止めの区間及び期間については、奈良県のホームページで確認してください。
115	滋賀県	ひらさんけい 比良山系 ぶながたけ 武奈ヶ岳 しゃかだけ 釈迦岳	1,214 1,060	<ul style="list-style-type: none"> ○ 比良山系は1,000m級の山ですが、冬期は、日本海側からの季節風の影響で降雪量も多く厳しい条件になります。登山には、十分な装備と計画が必要です。 ○ 滋賀県警察では、インターネットによる登山届も受理しています。 ○ 熊の情報については大津市・高島市のホームページで最新情報を確認してください。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
116	兵庫県	ろっこうさんけい 六甲山系	931	<ul style="list-style-type: none"> ○ 六甲山系は、最高峰の標高が931mで、東西約30kmにわたる山塊です。 ○ 市街地から近く交通の便が良く、登山の初心者からベテランまで楽しめる山と言われていますが、兵庫県における山岳遭難の約半数がこの六甲山系で発生しています。 ○ 多種多様なルートがある上、主要な登山道から分岐した小道も多く、道迷いによる山岳遭難が頻発しており、地図・コンパス・地図アプリなしでの登山は危険です。 ○ 急峻な箇所も多く、滑落や転倒による山岳遭難も発生しています。 ○ 冬期間は風が強く低温となり、積雪やアイスバーン等に注意が必要です。 ○ 北側の「アイスガーデン」と呼ばれるエリアでは、厳冬期に滝が凍結することがあり、登山者に人気ですが、付近の急峻な箇所が更に危険な状態となるので特に注意が必要です。 ○ いわゆる低山ですが、天候が急変することもありますので、気象情報を確認し、安全な登山を心がけてください。
117	兵庫県	ひょうのせん 氷ノ山	1,510	<ul style="list-style-type: none"> ○ 氷ノ山は、兵庫県の最高峰です。 ○ 兵庫県北部(但馬地方)に位置し、日本海型気候で、季節風の影響を受けて降雪量が多い山です。 ○ 周辺は豪雪地帯で積雪時の入山は特に危険ですので、熟練者の方でも、気象情報を確認しながら、スノーシュー・アイゼン・ピッケル等の積雪期装備等を活用の上、安全な登山を心がけてください。
118	鳥取県	だいせん 大山	1,729	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標高は1,729mの独立峰ですが、冬期間は季節風と積雪の影響を受け、3,000m級の山に匹敵する厳しい条件となりますので、万全の冬山装備が必要です。 ○ 北壁はトロイデ火山の内側に当たり、好天時は比較的平穏ですが、稜線に出ると突風が吹荒れ、視界がまったく利かないこともありますので注意が必要です。厳冬期から融雪期にかけては表層雪崩や雪庇に十分注意をしてください。 ※ 大山の最高峰は1,729mの剣ヶ峰ですが、そこまでの縦走路は崩落が激しく大変危険です。縦走路の利用はお控えください。現在、大山の頂上は標高1,709mの弥山となっています。 ● 令和5年1月、遭難者2人を含む3人がバックカントリーでスノーボードを行っていたところ雪崩が発生、雪崩に巻き込まれて骨折等の重傷を負う事案が発生しています。 ● 令和6年2月、単独で夏山登山道を登山中、山頂付近で悪天候のため登山道から外れ滑落し救助された事案が発生しています。 ● 令和6年3月、7号沢付近で発生した雪崩に3人の登山者が巻き込まれ、1人が重傷、2人が死亡する事案が発生しています。 ● 令和7年2月、夏山登山道を下山中に7合目付近で滑落し、死亡する事案が発生しています。
119	広島県 島根県	おそらかんざん 忍羅漢山	1,346	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県と島根県の県境に位置する西中国地方の最高峰で、登山ルートは複数ありますが、隣接する旧羅漢山から尾根伝いに西方に伸びる広見林道は道に迷いやすく、広島県側のスキー場でスキーヤー等がコースを外れ、島根県側に下山し、遭難するケースもあり注意が必要です。 ● 令和6年12月に、雪山登山中に登山道から転落し、その場に駆けつけた同伴者とともに現在地がわからなくなり、救助された事案が発生しています。
120	広島県	じっぽうざん 十方山	1,319	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県の北西部に位置し、県内で3番目に標高の高い山で登山ルートも複数あり山頂は台形で広いため、霧が発生すると視界が悪くなり道を誤るおそれがあります。また、登山道はなめらかで登りやすいところが多いですが、一部急な崖に沿った場所があり、滝付近の岩場が濡れいると足下が滑りやすくなることからも十分な注意が必要です。 ● 令和4年2月に、降雪の中、男女2名で入山し、下山途中に2名とも滑落し動けなくなり遭難、うち1名が骨折する事案が発生しています。 ● 令和5年2月に、最大約20センチメートルの積雪がある中、男女6名で入山し、下山中に道に迷い、道無き道を進んでいたところ1名が滑落し死亡する事案が発生しています。
121	徳島県	つるぎさん 剣山	1,955	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標高2,000m程度の山ですが、過去に登山途中、滑落による遭難が発生しています。また、冬場は降雪に加え、凍結部分が生じる場合もありますので、アイゼン等の積雪期装備を携行するなど、万全の準備と細心の注意が必要です。 ● 平成29年2月に、剣山と次郎笈を結ぶ雪道において、9人グループのうちの登山者1人が滑落し、死亡する事案が発生しています。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
122	徳島県 高知県	さんれい・みうね 三嶺	1,894	<ul style="list-style-type: none"> ○ 徳島県側の登山ルートは、岩場等の危険箇所はありませんが、急な坂があり、過去には滑落事故も発生しています。(徳島県情報) ○ 冬場は降雪に加え、凍結部分が生じる場合もありますので、アイゼン等の積雪期装備を携行するなど、万全の準備と細心の注意が必要です。(徳島県情報) ○ 高知県側のフスベヨリ谷ルート周辺は、過去の台風の影響で従来の登山ルートとは大きく変わっているところがあり、また、足場の悪いところや落石など危険な箇所がありますので、転倒や転落、道迷い等に十分気をつけて登山する必要があります。(高知県情報) ○ 高知県側のカンカケ谷ルートは鹿による食害の影響で登山道の崩落の危険がある場所がありますので十分に注意してください。(高知県情報) ● 平成26年12月に、登山者3人が降雪等による悪天候のため、下山できなくなり山小屋に数日間避難した遭難が発生しています。 ● 令和6年11月、令和7年2月に、登山者が道迷いにより遭難しています。(徳島県情報)
123	愛媛県	いしづちさん 石鎚山	1,982	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冬山の登山ルートは、西条市西之川地区からロープウェイを利用し、成就ルートから入山するのが一般的です。 ○ 例年、12月1日～翌年3月31日までの間、石鎚スカイラインが閉鎖されるため、土小屋ルートからの入山はできません。 ○ 面河ルートについては、行程が非常に長い上、雪崩の危険性が非常に高い地形のため、入山を控えてください。 ○ 例年、12月中旬～翌年3月中旬まで積雪があり、ピーク時の積雪は2mを超えることもあります。また、気候条件によっては4月下旬まで残雪がみられることもあります。 ○ 雪質は、その時々の気象条件によって変化が激しく、特に山頂付近の稜線上は吹きさらしによりアイスバーン状となることが多いため、滑落の危険性が非常に高く、十分な注意が必要です。 ○ 無雪期に比べ、登山道は積雪によりルートの判別が難しく、分岐点での道間違いや滑落の危険性が非常に高いことから、入山の際には、単独での入山や経験不足者同士での入山は控え、十分な冬山知識と経験を持ったリーダーの下で、十分な冬山装備・食料等を携行して入山してください。 ○ 「二ノ鎖避難小屋」や「頂上社避難小屋」は、緊急時の避難先として利用できます。「頂上山荘」は冬期間閉鎖されていますので注意してください。 ● 令和4年12月、石鎚山系面河ルートにおいて、単独登山者が死亡する事案が発生しています。 ● 令和7年2月、石鎚山系高瀬の滝付近において、単独登山者が死亡する事案が発生しています。
124	愛媛県	あかいしきんけい 赤石山系 ひがし・あかいしやま 東赤石山 にしあかいしやま 西赤石山 ふたつだけ ニツ岳	1,706 1,626 1,647	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東赤石山は、笈津登山口・床鍋登山口からの入山が一般的です。 ○ 西赤石山は、遠登志登山口(鹿森ダム付近)・日浦登山口からの入山が一般的です。 ○ ニツ岳は、肉淵登山口からの入山が一般的です。 ○ 赤石山系の山頂付近は岩場が多く、凍結による滑落の危険性が非常に高いため、十分な注意が必要です。 ○ 平家平・冠山登山道の「中7番登山口」～「一の谷越」までの間には、登山道の崩壊に伴い閉鎖されていますので注意してください。 ○ 無雪期に比べ、登山道は積雪によりルートの判別が難しく、分岐点での道間違いや滑落の危険性が非常に高いことから、入山の際には、単独での入山や経験不足者同士での入山は控え、十分な冬山知識と経験を持ったリーダーの下で、十分な冬山装備・食料等を携行して入山してください。 ● 平成29年2月、平家平において登山者が滑落し、1人が負傷する事案が発生しています。
125	福岡	ひこさん 英彦山 きただけ 北岳 なかだけ 中岳 みなみだけ 南岳	1,192 1,188 1,199	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英彦山には、中岳、南岳及び北岳の3つの登山コースがあります。 ○ これまで、中岳山頂の英彦山神宮上宮修復工事のため、中岳山頂及び三岳の縦走が出来ませんでしたが、上宮修復工事完了に伴い、令和7年12月1日より全道通行規制が解除となっています。 ○ なお、上宮境内にあっては、令和8年春まで立入禁止となっていますので、入らないようお願いします。 ○ 英彦山のいずれの登山コースも切り立った崖、幅と高さが不規則な石段、鎖付きの岩場等があり、積雪時には滑落するおそれがあることから、しっかりと冬山装備を準備する必要があります。 ○ 登山を行う際は、無理のない登山計画を立て、登山計画書(登山届)の作成・提出をお願いします。 ○ なお、登山計画書(登山届)は、福岡県警のホームページから電子申請をすることも可能ですのでご活用ください。
126	佐賀県 長崎県	たらさんけい 多良山系 きょううがたけ 経ヶ岳 たらだけ 多良岳	1,076 996	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多良山系は、1,000m級の山ですが、冬期間は降雪量が多く、登山には厳しい条件になります。アイゼン等の冬山装備と無理のない計画が必要です。 ○ 道迷いによる遭難が発生していますので、案内標識をよく確認してください。 ● 令和7年2月、多良岳において単独登山者が何らかの理由により登山道の崖下約5mに滑落し、死亡する事故が発生しています。 ● 令和7年5月、多良岳において山岳会の知り合い6人で登山中、1人が滑落して死亡する事故が発生しています。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
127	長崎県	うんぜんだけ 雲仙岳 ふげんだけ 普賢岳 くにみだけ 国見岳 みょうけんだけ 妙見岳	1359 1347 1333	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普賢岳新登山道の「西の風穴」から「霧氷沢分かれ」の区間は道が狭く、悪路であることに加え、落石の危険性が常にありますので、ヘルメットを携行し、通過する際は、立ち止まらないようにしてください。また、同区間は大雨注意報・警報の発表時に通行止めとなります。 ○ 冬期間の雲仙岳では、凍結する箇所がありますので、アイゼン等の装備を携行するなど、万全の準備と計画が必要です。 ○ 雲仙岳登山道(「あざみ谷」から「紅葉茶屋」の区間)は土砂崩れのため、令和7年8月から一部通行止めとなっています。普賢岳山頂へは妙見岳経由の歩道をご利用ください。 ○ 土砂崩れのため、通行止めとしていた雲仙岳登山道(「国見分かれ」から「鬼人谷口」の区間)については、う回路が設定されたため、令和7年4月から通行が再開されています。 ○ う回路は道が狭く滑りやすいため、通行にあたっては万全の登山装備のもと、十分注意の上、通行するようお願いします。
128	熊本県	あそさん 阿蘇山 なかだけ 中岳 たかだけ 高岳 ねこだけ 根子岳	1,506 1,592 1,433	<ul style="list-style-type: none"> ○ 阿蘇山系では、平成28年4月14日、同月16日に発生した熊本地震やその後の豪雨の影響に伴う崩落及びルート寸断により、一部の登山ルートが通行できない場所があります。 ○ 阿蘇山系は、溶岩に火山灰が積もった地質で山肌がもろく、崩れやすい岩場や浮き石が多いことから、登山には細心の注意が必要です。 ○ また、阿蘇中岳噴火に伴う噴石の危険性もありますので、最新の情報を収集し、異変を感じたら速やかに避難してください。 ○ 阿蘇山系以外の山岳地でも、熊本地震の影響等により通行できない登山ルートがありますのでご注意ください。 ○ 登山を楽しむためには、自分の技量や体力にあった登山に努め、決して無理をしないことが最も重要です。また、登山口には登山届ボックスが設置されていますので、「登山届」を提出してください。 ○ 熊本県警では、携帯電話等によりインターネットでの登山届を受け付けているので、積極的な利用をお願いします。
129	大分県	くじゅう連山 なかだけ 中岳 くじゅうさん 久住山 たいせんざん 大船山 みまたやま 三俣山	1,791 1,786 1,786 1,744	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通の便がよく比較的登山しやすい山岳であるため、冬場であってもハイキング感覚の軽装備で登山する人が多く、それに起因して転倒や道迷いによる遭難が発生しています。 ○ 久住山は、浮き石が多いことから、登山には細心の注意が必要です。 ○ 積雪するので、アイゼンなど冬山用の装備が必要です。 ○ 中岳直下の御池は、厳寒期に凍結し撮影スポットとなっていますが、気温が高い日には氷が割れる恐れがあるため、氷上の歩行には注意が必要です。 ○ 登山道の誘導テープを見落とさず登山することが重要です。 ○ 次の区間(大曲り～星生山山頂、指山山頂～三俣山北峰、三俣山小鍋～雨ヶ池、中岳分岐～法華院白口谷、本山登山道～鳴子山、本山登山道～稻星山、扇ヶ鼻～元レストハウス、獵師山～一目山、湯坪～おむすび山～大崩ノ辻～黒岩山泉水山線、平治岳～北尾根ルート、男池～名水の滝園路)は、自然災害等による地割れや崩落箇所が多数あるため、当面の間、登山道の閉鎖措置を行っています。 ○ 坊ガツルから長者原に向かう途中の雨ヶ池越コースでは、雨ヶ池手前付近にある分かれ道で左側の登山コースに進むと三俣山北側の雑木林に迷い込みますので注意が必要です。 ※「迷ったな」と思ったら、早めに引き返す勇気が大切です。 ○ くじゅう連山は、携帯電話での通信通話が出来ない場所があります。 電池の消費も激しいので予備バッテリーの準備が必要です。 ○ 瀬の本登山口から扇ヶ鼻への登山道は、冬場は落ち葉により道がわかりにくくなります。 ○ 大船山の板切登山口からの登山道は登山バス専用になっており、一般登山者は通行できません。 ○ 鉾立峠～白口岳間で登山道の一部が崩落しているため、通行に注意が必要です。 ○ 登山道の最新情報は『長者原ビジターセンター(https://kujufanclub.com)』のホームページから確認することができます。 ○ 登山を行う際は、経験、体力に応じた無理のない登山計画を立て、登山計画書(登山届)の作成・提出をお願いします。 ○ なお、登山計画書(登山届)は、大分県警のホームページや山岳アプリ(コンパス、ヤマップ)から電子申請をすることも可能ですのでご活用下さい。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
130	大分県 宮崎県	祖母・傾山系 そぼさん 祖母山 かたむきやま 傾山	1,757 1,605	<ul style="list-style-type: none"> ○ 祖母・傾山系は、登山歴が豊富な登山者であってもガイドタイム以上に時間がかかります。 ○ ビバーク装備、照明機器の装備は必須です。 ○ 急峻で難コースが多く、登山道を外れて滑落・転落による遭難が発生しています。 ○ 祖母山黒金山尾根コースは、荒れている場所が多くなっています。 ○ 祖母山頂から、傾山に向けて約100m地点の「はしご」設置箇所は、滑(転)落のおそれがある危険箇所です。特に12月から4月上旬までは、「はしご」が凍結し滑るため、アイゼンの着用が必要です。 ○ 傾山三ツ坊主コースは、岩場が多く、滑(転)落のおそれがある危険箇所です。 ○ 傾山九折コースの観音滝は、転落事故の多発地点です。 ○ カンカケ谷から九折林道までの間には、岩場の急斜面があり、滑落事故の多発地点です。 ○ 傾山西山(払鳥屋)登山口から山頂までのコースは、ほとんどが急勾配で体力が必要です。 ○ 祖母山から傾山の縦走は、長距離であり、急峻であるため、強靭な体力が必要です。 ○ 祖母傾山系では、携帯電話の通信通話が出来ない場所があります。 電池の消費も激しいので予備バッテリーの準備が必要です。 ○ 登山を行う際は、経験、体力に応じた無理のない登山計画を立て、登山計画書(登山届)の作成・提出をお願いします。 なお、登山計画書(登山届)は、大分県警・宮崎県警のホームページや山岳アプリ(コンパス、ヤマップ)から電子申請をすることも可能ですのでご活用下さい。 ● 令和6年11月、祖母山系(大障子岩付近)において、登山道から滑落し、死亡する事案が発生しています。 ● 令和7年5月、宮崎県側(杉ヶ越登山口)から傾山に登山を開始した登山者が、下山中に梯子を踏み外して転落し、死亡する事案が発生しています。
131	大分県	由布・鶴見山系 ゆふだけ 由布岳 つるみだけ 鶴見岳	1,583 1,375	<ul style="list-style-type: none"> ○ 由布岳のマタエから東峰・西峰の間は、崩落・地割れ、亀裂箇所があり、十分な注意が必要です。 ○ マタエ等の登山道には、登山道の崩落等の注意喚起標識があるので確認してください。 ○ 鶴見岳の西登山口から頂上までの間は、地割れ、亀裂箇所があり、十分な注意が必要です。 ○ 鶴見岳の馬ノ背～鞍ヶ戸～船底の間は、登山道が崩壊し、通行ができなくなっています。 ○ 由布・鶴見山系は、携帯電話の通信通話が出来ない場所があります。 電池の消費も激しいので予備バッテリーの準備が必要です。 ○ 由布岳登山道(正面ルート、日向岳ルート)にレスキューポイント看板を設置しています。 レスキューポイントは、登山道上に約10分間隔の距離に設置しているので目印にしてください。 ○ 登山を行う際は、経験、体力に応じた無理のない登山計画を立て、登山計画書(登山届)の作成・提出をお願いします。 なお、登山計画書(登山届)は、大分県警のホームページや山岳アプリ(コンパス、ヤマップ)から電子申請をすることも可能ですのでご活用下さい。
132	宮崎県 鹿児島県	霧島山系 きりしまさんけい からくにだけ 韓国岳	1,700	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高千穂峰の山頂付近登山道は新燃岳噴火に伴い、火山礫等が堆積しており足場が悪く、転倒に注意が必要です。 ○ 大浪池は石段が濡れると滑りやすく、転倒に注意が必要です。 ○ 韓国岳の火口は直径900m、深さ300mの断崖絶壁であることから、注意が必要です。 ○ 霧島山系の新燃岳やえびの高原(硫黄山)周辺は火山活動のため「噴火警戒レベル」に応じた規制が行われますので、必ず情報を確認してください。 新燃岳周辺の登山道で立入りが禁止となっている区域もありますので、必ず事前に情報を確認してください。 ○ 厳冬期は積雪が見られ、アイゼンや防寒着等の冬山装備が必要なときもあります。万全の準備と無理のない計画が必要です。
133	鹿児島県	開聞岳 かいもんだけ	924	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開聞岳は、「薩摩富士」と呼ばれ、海岸に突き出た独立峰で、山麓から約3時間で登頂できますが、登山道は軽石、火山礫に覆われ足場の悪い所が多く、特に下山時は転倒等に注意が必要です。 登山道は、東斜面の樹林帯の中にあり、夕方には薄暗くなりますので、時間に余裕のある登山計画を立ててください。 ○ 厳冬期は最大10cm前後の積雪となることがあるので、スリップ事故にも注意が必要です。

令和7年冬山情報

令和7年11月26日現在

番号	都道府県名	山岳(山系)名	標高(m)	情報内容
134	鹿児島県	やくしまさんけい 屋久島山系 みやのうらだけ 宮之浦岳 ながただけ 永田岳 くろみだけ 黒味岳	1,936	<ul style="list-style-type: none"> ○ 宮之浦岳は、九州の最高峰です。十分な装備とゆとりある計画を立ててください。淀川登山口から宮之浦岳を往復するには徒歩で約10時間要するので十分な体力が必要です。冬山シーズンの日暮れは早いので余裕ある計画を立ててください。 ○ 海岸部で天候が良くても、山間部の天候は急変することから登山用の雨具(軽易な雨具は不可、山間部の年間雨量約1万mm)は必需品です。また、日帰りでも非常食、懐中電灯、ホイッスルを持参することや通信手段として携帯電話等が必要です。 ○ 登山道から外れないでください。屋久島の山は原生林のため道に迷いやすく、いったん登山道から離れると遭難するおそれがあります。道に迷ったら、尾根伝いに山頂を目指してください。沢伝いに川を下ることは、滝が多くて大変危険ですから沢へは降りないでください。 ○ 令和6年は、滑落等による山岳遭難が多く発生しています。 ○ 厳冬期は縄文杉(標高約1,300m)周辺でも1~2m、宮之浦岳等の更に標高の高い場所では2m以上の積雪となることがあります。 ○ 降雪はいわゆるべた雪でアイゼンでの歩行は困難を極めること、山頂付近は猛烈な風が吹き荒れること、積雪により登山道が不明確になること等から、降雪時の山頂への登山は大変危険です。 ● 令和2年12月、単独登山者が雪深い永田岳山頂付近で滑落し、死亡する事案が発生しています。 ● 令和3年1月、単独登山者が寒さによる疲労のため下山困難となつた事案が発生しています。 ● 令和5年1月、積雪のなか、単独で入山した外国人が行方不明となっています。 ● 令和5年12月、外国人2人が降雪と積雪により道に迷い、下山できなくなつた事案が発生しています。

冬山装備チェックリスト

登山目的にあった装備を持参しましょう。（○は必ず持参のもの。△は状況によって持参のもの。）

品名	品名	品名
○ ロングパンツ	○ 行動食・非常食	△ シュラフ
○ ロングシャツ（ウール等）	○ 飲料水・保湿ボトル	△ シュラフカバー
○ アンダーウェア上下	○ 携帯トイレ	△ マット
○ 靴下（登山用・予備含む）	○ トイレットペーパー	△ スタッフバッグ
○ 登山靴	○ タオル	△ テント一式
○ ビーニー（ニット帽）	○ ポリ袋（防水・ごみ入れ等）	△ 目印旗・竹竿に赤布などをつけた目印
○ 手袋（予備含む）	○ ヘッドライト（予備バッテリー含む）	△ ロープ
○ 防寒衣（フリース・ダウン等）	○ ラジオ（予備電池含む）	△ ハーネス
○ オーバージャケット（防寒・防水）	○ ツェルト	△ カラビナ各種
○ オーバーパンツ（防寒・防水）	○ 修理用具一式	△ スリング各種
○ オーバーグローブ	○ ナイフ（マルチツール）	△ ヘルメット
○ ロングスパッツ	○ クッカー（調理器具）	△ 各種登攀用具
○ バックパック	○ ストーブ（燃料含む）	△ カイロ
○ サングラス	○ ライター・防水マッチ	△ ハンディGPS端末
○ 時計（高度計機能付き）	○ ホイッスル	△ ゴーグル
○ スマートフォン（GPS機能付き、予備バッテリー含む）	○ ピッケル	△ 無線機（予備バッテリー含む）
○ 筆記具	○ アイゼン（10本爪以上）	△ 天気図用紙
○ 1/25000地形図（紙）、登山専用地図	○ ワカン・スノーシュー	△ 日焼け止め
○ ルート図	○ スノーショベル	△ 伸縮式ストック
○ 登山計画書（届）（緊急連絡先含む）	○ 雪崩ビーコン	△ サブザック
○ コンパス		△ 軽アイゼン・チェーンスパイク
○ 身分証明書		△ スノーソー
○ 健康保険証		△ レスキュー・シート
○ ファーストエイドキット		△ バラクラバ（目出し帽）
○ プローブ		

※ この装備リストは冬山の標準的な装備です。対象とする山の難易度、登山方法により必要な装備は変わりますので、事前にパーティで装備の要否や追加装備の有無をよく検討してください。